大田区立石川台中学校改築事業 基本構想及び基本計画

令和６年２月

大田区教育委員会

大田区立石川台中学校改築事業 基本構想及び基本計画

目次

第１章　基本構想・基本計画の主旨

1　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

2　策定の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

3　策定の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

4　策定の基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

（１）「新おおた重点プログラム」

（２）「おおた教育ビジョン」

（３）「大田区公共施設等総合管理計画」

5　学校施設の目指すべき姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

6　策定の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

（１）学校改築懇談会の設置

（２）アンケート及び生徒ヒアリングの活用

第２章　基本構想策定の条件

1　地域の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

（１）位置及び周辺環境

（２）学校周辺の環境

（３）地域の歴史・文化

2　石川台中学校の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

（１）沿革

（２）教育目標・教育方針等

（３）特色ある教育活動

（４）通学区域

3　他施設との複合化の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

第３章　基本構想

1　アンケート及び生徒ヒアリングの実施結果・・・・・・・・・・・・・１８

2　コンセプト・施設整備方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０

第４章　基本計画策定の条件

１　石川台中学校の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３

（１）敷地概要

（２）関係法令等

（３）周辺道路状況

（４）既存校舎の概要

（５）モニュメント・既存樹などの状況

２　大田区立学校諸室等仕様標準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２

（１）配置計画

（２）ゾーニング計画

３　大田区立学校改築標準設計仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３

第５章　基本計画

１　計画概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５

（１）予定建物規模

（２）予定諸室

（３）予定諸室想定面積表

２　建物配置計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８

（１）建物配置パターンの整理

（２）新校舎の配置計画

３　機能関連図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６１

４　ゾーニング案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６２

５　事業スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４

（１）工事の流れ

（２）工程計画（案）

第１章　基本構想・基本計画の主旨

1　はじめに
2　策定の経緯
3　策定の目的
4　策定の基準
（１）「新おおた重点プログラム」
（２）「おおた教育ビジョン」
（３）「大田区公共施設等総合管理計画」
5　学校施設の目指すべき姿
6　策定の方法
（１）学校改築懇談会の設置
（２）アンケート及び
（３）生徒ヒアリングの活用

第１章　基本構想・基本計画の主旨

１　はじめに

本基本構想・基本計画は、石川台中学校の改築を進めるにあたり、基本的な考え方をまとめたものです。策定にあたっては、学校関係者、学区域内の地域の代表、保護者の代表の方々のご参加を得て「石川台中学校学校改築懇談会」を開催し、様々なご意見をいただきながら検討を行ってきました。ご協力いただきました関係者の皆様に、改めて心から御礼申し上げます。

石川台中学校の生徒の皆さんが毎日行きたいと思える学校、また、地域の方々が誇りに思うことができる学校を目指して、石川台中学校の改築事業を進めていきます。

２　策定の経緯

現在、大田区には、区立小・中学校及び特別支援学校を合わせて 88 校の学校施設があり、そのうち約 8 割の学校で築 40 年以上の校舎棟を有しています。今後さらに老朽化する校舎棟が増加していく中、計画的に学校を改築していくことが喫緊の課題となっています。学校施設の状態や生徒数の推移、地域バランスなどを総合的に勘案検討した結果、石川台中学校につきましては校舎の過半が築 50 年以上を経過しているため、改修ではなく全面改築とする方針を決定しました。

改築にあたっての基本的な考え方をまとめるため、大田区では、令和 5 年度より「石川台中学校 学校改築懇談会」を設置し、具体的な検討に着手しました。

委員の皆様と意見交換をさせていただきながら、基本構想・基本計画の策定に向けて様々な協議・検討を行ってきました。

今後は、この基本構想・基本計画にまとめた考え方に則り、設計から工事へと順次進めていきます。

３　策定の目的

大田区では、学校施設の改築についての考え方を「新おおた重点プログラム」、「おおた教育ビジョン」、「大田区公共施設等総合管理計画」の中で示しています。

本基本構想・基本計画は、それらの基本理念を骨格としながら、石川台中学校及び地域の要望を踏まえ、皆様に永く愛される石川台中学校を実現するための指針として策定しました。学校施設として保有すべき一定の水準を保ちつつ、学校の個性や地域の特性を採り入れた、新しい石川台中学校とするための基本方針・考え方を示しています。

４　策定の基準

本基本構想・基本計画における基本的な考え方は、以下の施策に基づいています。

（１）「新おおた重点プログラム」

大田区では、平成 21 年度から平成 30 年度を計画期間とした「おおた未来プラン 10 年」の検証・総括を行いました。そして、令和の時代を迎え、令和元年７月に策定した「おおた重点プログラム」を、令和３年度策定予定の新たな基本計画へつなげるためのものとして、着実な区政を運営してまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大という未曽有の事態により区政を取り巻く環境が一変したことから、新基本計画の策定を延期とし、緊急課題の克服をテーマとした『新おおた重点プログラム』を新たに策定しました。学校施設の改築については、この中で以下のとおり設定しています。

新おおた重点プログラム（抜粋）基本目標１：生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

個別目標１：未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
施策３：豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る子どもを育成します
事業３：学校教育環境の整備

（２）「おおた教育ビジョン」

大田区教育委員会では、『おおた教育振興プラン』『おおた教育振興プラン 2014』による 10 年間の取組の成果を基に、令和元年度から５年間の教育振興基本計画として「おおた教育ビジョン」を策定しました。

本計画では、急速に変化し続ける未来社会を見据え、教育施策を推進する基本的な視点として、４つの「ビジョン」を示しました。また、これらのビジョンを踏まえ、重点的に推進する施策を体系化するため、６つの「プラン」をまとめ、具体的な事業展開への道筋を示しました。学校施設の改築に関しては、この中で以下のとおり設定しています。

おおた教育ビジョン（抜粋）

ビジョンⅢ：意欲にあふれ、個性と可能性を最大限に伸ばす学びの場を創出する
プラン５　魅力ある教育環境づくりの中の、『５ 教育環境の整備』の１項目

（３）「大田区公共施設等総合管理計画」

大田区では、「大田区公共施設白書」「大田区公共施設適正配置方針」「大田区公共施設等マネジメント 今後の取り組み」をもって、『大田区公共施設等総合管理計画』と位置付け、個別施設等の具体的な対応方針を定める基礎資料として公共施設の整備計画に反映することで、効果的・効率的な施設マネジメントを推進します。学校施設の改築に関しては、この中で以下の整備方針を示しています。

大田区公共施設等総合管理計画（抜粋）

〇区が保有する建物を用途別にみると、学校教育系施設の延床面積が最も多く、公共施設全体の約 50％を占めている。

〇築 40 年以上を経過した施設のうち、学校教育系施設が約 76％と、公共施設の中でも特に老朽化が進行しているため、計画的な更新が必要となる。

〇老朽化した施設の整備にあたり、標準機能（普通教室、特別教室、多目的室、職員室、体育館、プール、校庭等）を整備する。標準機能は、「大田区学校諸室等仕様標準」に基づくものとする。

〇標準機能に加えて、学校の特性を踏まえた教育機能の導入を検討し、学校教育活動の一層の向上を目指す。

〇新たな地域力の推進拠点とするため、可能な限りの容積を活用し、地域の状況や行政需要等に応じた機能を導入し、複合化を図る。
〇今後の生徒数の予測に基づき、将来的な学校の適正規模や配置について検証し、必要に応じて統合なども視野に入れた検討を行う。
〇放課後の生徒の居場所づくりとして、学童保育機能を児童館から小学校に移行し、放課後ひろば事業をすべての区立小学校で実施する。

5　学校施設の目指すべき姿

学校施設については、平成７（1995）年の阪神・淡路大震災を受け、全校の耐震診断を行った上で耐震改修を実施するなど、施設の安全確保を第一に整備を進めてきました。学校施設は、おおた教育ビジョンの教育施策を体現する場であり、新たな社会的要請に応えた多様な教育活動をさせる安全・安心な施設づくりが必要となっています。

このため、以下の３点を「学校施設の目指すべき姿」として、整備を進めています。

学校施設の目指すべき姿

①安全・安心な施設環境の確保
（適切な維持管理、セキュリティ強化、バリアフリー化）

②時代のニーズに合わせた教育環境の向上
（ICT・少人数教育への対応、特別支援教育の充実、環境負荷の低減、健康等への配慮）

③地域拠点としての一面を持つ学校施設
（避難所としての機能強化、地域との連携・協働、地域コミュニティづくりへの貢献）

6　策定の方法

（１）学校改築懇談会の設置

基本構想・基本計画の策定にあたり、石川台中学校に関わる方々から広くご意見を賜りながら地域と共にある学校づくりを進めていくため、「石川台中学校 学校改築懇談会」を設置しました。

学校改築懇談会では、以下のスケジュールに基づき、様々な視点で委員の皆様と意見交換を実施しました。

・スケジュール及び各回の議題

■第１回学校改築懇談会（令和５年６月１日）
- 学校改築懇談会の発足について
- 学校施設の更新について
- 区内の公共施設について
- 石川台中学校の概要について
- 基本構想・基本計画策定及び学校改築懇談会スケジュールについて
- アンケートの実施概要について

●アンケート実施（生徒・保護者・教職員・地域の皆様）令和５年６月～令和５年８月

■第２回学校改築懇談会（令和５年８月１日）
- アンケート結果の報告
- コンセプト案の作成について
- 体育館の整備について

■第３回学校改築懇談会（令和５年 10 月 13 日）
- アンケート及び生徒ヒアリング結果の報告
- コンセプト及び施設整備方針（案）の報告
- 配置、ゾーニング比較検討及び整備ステップについて

■第４回学校改築懇談会（令和５年 12 月７日）
- コンセプト及び施設整備方針の報告（一部変更）
- 配置計画の提案について
- 記念品等に関する報告

■第５回学校改築懇談会（令和６年１月 24 日）
- 基本構想及び基本計画（案）の最終確認

（2）アンケート及び生徒ヒアリングの活用

基本構想・基本計画は、区の教育目標や上位計画はじめ、様々な関係者の思いに耳を傾け、新たな学校像を共有する大切なプロセスであると考えていることから、生徒、保護者、学校関係者、地域の思いや声をくみ取るため、Google Forms または紙媒体によるアンケート調査を実施しました。

また、生徒代表の皆様から直接お話を伺う生徒ヒアリングを実施しました。

これらを通して、新しい施設が目指す姿はどのようなものか検討するヒントを集め、コンセプト及び施設整備方針の決定へ役立てました。また、頂いたご意見を今後の設計へ活かしてまいります。

＜アンケート対象者＞

石川台中学校に在学中の生徒、保護者、教職員（配付による）

学区域内の自治会・町会の皆様 （回覧による）

※対象自治会・町会

①石川町会　②千東西自治会　③笹丸自治会　④雪谷石川台自治会

⑤東雪谷東中自治会　⑥南雪谷自治会　⑦池の台自治会　⑧調布大塚自治会

≪アンケート用紙及び回収箱設置箇所≫

・千東特別出張所　・雪谷特別出張所　・田園調布特別出張所　・石川台中学校

第２章　基本構想策定の条件

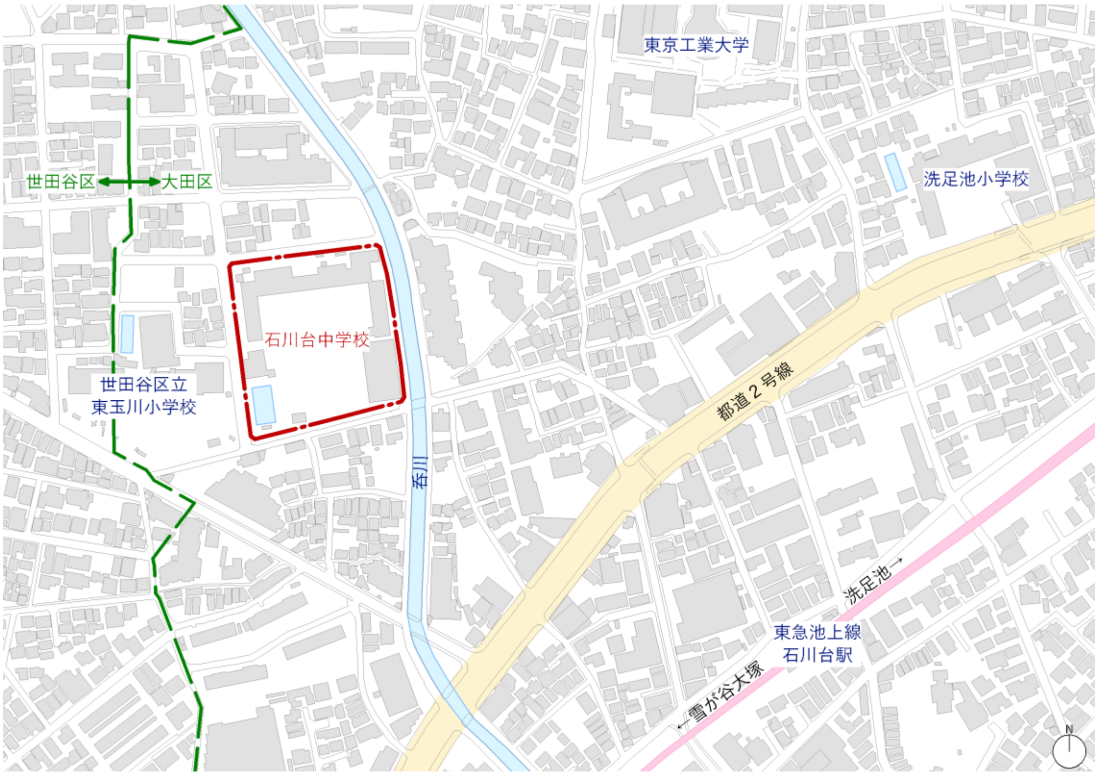
１　地域の特徴
（１）位置及び周辺環境
（２）学校周辺の環境
（３）地域の歴史・文化
２　石川台中学校の概要
（１）沿革
（２）教育目標・教育方針等
（３）特色ある教育活動
（４）通学区域
３　他施設との複合化の検討

第２章　基本構想策定の条件

１　地域の特徴

（１）位置及び周辺環境

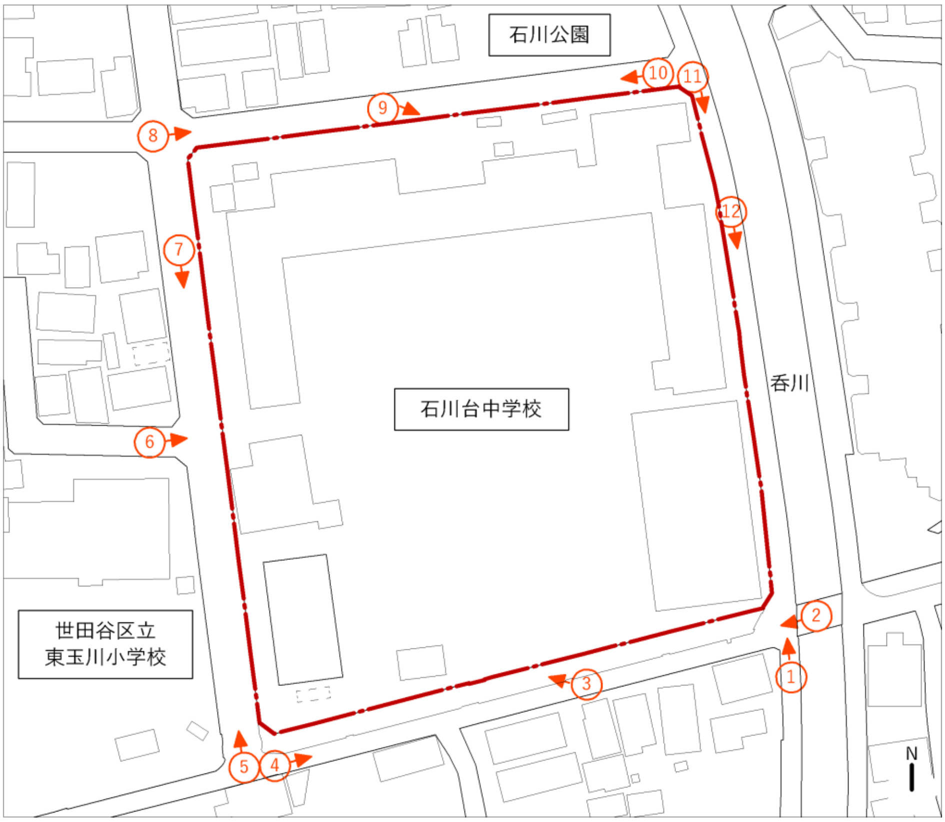
本計画地は大田区と世田谷区の区界に位置し、南東には都道２号線及び東急池上線が近接している地域となっています。



（２）学校周辺の環境

東側には呑川、南側には緑道が接しており自然豊かな環境に囲まれています。また、周辺は住宅地であり、西側には世田谷区立東玉川小学校が隣接しています。

計画地周辺図及び現況写真について次頁に示します。


石川公園
石川台中学校
呑川
世田谷区立
東玉川小学校
N
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

敷地の周辺状況写真

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

（３）地域の歴史・文化

大田区の地形は武蔵野台地の東端にあたり、久が原台、荏原台と呼ばれる北西部の台地と多摩川、呑川、内川が運んできた土砂が堆積した南東部の低地部に大きく分かれています。

台地部の辺縁部にまで海が入り込んでいた縄文時代には貝塚を伴った集落が区内各地にあり、弥生時代の久が原遺跡には 1,000 戸以上の住居跡があったと推定されています。古墳時代には多摩川台古墳群などがあり、台地部には古くから人々が住んでいました。江戸時代から明治以降も台地部は畑が多く占め、主に農用地として利用されていました。

大正から昭和にかけて大田区は東京近郊の農村地域から東京の住宅地、工業地へと変貌を遂げました。鉄道の開通と耕地整理事業の始まり、関東大震災を契機に宅地の郊外化の拍車がかかり、久が原などの台地部が戸建て住宅地に変わっていきました。

石川台中学校については、昭和 30 年に大森第六中学校が２千人を超すマンモス校にふくれあがったため、近隣に土地を求めて、生まれるべくして現敷地に設立されました。

2　石川台中学校の概要

（1）沿革

昭和 29 年 12 月 9 日	設立認可
昭和 30 年 1 月 28 日	初代校長　鵜飼　勲　就任
昭和 30 年 4 月 5 日	開校式
昭和 30 年 6 月 14 日	校舎落成式（現在の開校記念日）
昭和 37 年 4 月 9 日	開校記念日
昭和 39 年 10 月 3 日	創立 10 周年記念祭（石中音頭発表）
昭和 49 年 5 月 16 日	鉄筋新校舎に移転・使用開始
昭和 51 年 10 月 13 日	校庭に欅 10 本植樹
昭和 59 年 11 月 17 日	第 30 回開校記念式典祝賀会
平成 6 年 2 月 10 日	大田区研究奨励校　研究発表会
平成 16 年 11 月 5 日	創立 50 周年記念式典、校旗新調
平成 23 年 11 月 15 日	大田区教育委員会教育研究推進校　研究発表
平成 26 年 6 月 30 日	体育館大規模改修工事完了
平成 26 年 7 月 12 日	創立 60 周年記念式典・体育館落成記念式
平成 28 年 4 月 1 日	東京都スーパーアクティブスクールに指定
平成 28 年 10 月 14 日	大田区教育委員会教育研究推進校　研究発表
平成 31 年 2 月 13 日	スーパーアクティブスクール指定校　発表会
平成 31 年 4 月 1 日	サポートルーム（特別支援教室）開室
令和 2 年 1 月 11 月	創立 65 周年記念の会
令和 2 年度～令和 3 年度	大田区教育委員会 教育研究推進校 「読解力を向上させる指導の工夫」に取り組む
令和 3 年 4 月 1 日	特別支援学級　開級
令和 4 年 2 月 1 日	大田区教育委員会 教育研究推進校　研究発表

※石川台中学校令和 5 年度学校要覧より抜粋

（２）教育目標・学校経営方針等

ア　教育目標

心身ともに健康で、豊かな人間性と他者と協働して課題を解決する創造性を備えた生徒を育てるために、次の３つを目標として掲げています。

・思考力に富む生徒
・実行力のある生徒
・情操の豊かな生徒

イ　特別支援学級の教育目標

「自立を目指し、生きる力を養う。」

①自立に向け基本的な知識の習得と生活習慣の確立を図る
②基礎体力の養成と向上を図る
③自然や日常生活、更に広く社会への関心を高め、豊かな感受性と創造力、適応力を育てる
④ねばり強く問題を解決する力を育てる
⑤友達を大切にし、健康で元気に活動できる心身を育てる

ウ　学力向上に関わる学校経営方針

①生徒が自ら学び自ら考えることのできる教育計画を立てて実践。
また、指導方法についての創意工夫や改善を図るとともに個々の生徒の能力に即した指導方法を開発。
②新学習指導要領による教育活動により、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育み「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指す。
③体力・運動能力向上に関わる取組の充実を図る。

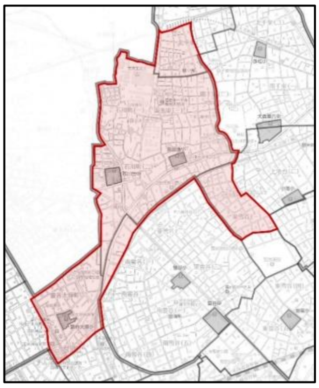
（３）特色ある教育活動　※令和５年度学校要覧より抜粋

①小規模校のよさを活かした落ち着いた環境での学習や異学年交流を通じて多様な人々との関わりを学ぶ学校行事
②令和２・３年度大田区教育委員会教育研究推進校の実践を活かした「読解力を向上させる指導の工夫」
③スーパーアクティブスクール校（平成 28～30 年度）としての研究成果を活かし、耐力向上の視点に立った健康教育の一環としての「石中タイム」を実施
④保護者、地域、学校支援地域本部等の協力を得た「自習教室」や「朝の一声運動」、「下校時あいさつ運動」など

（４）通学区域

石川町一丁目から二丁目	全域
北千束三丁目	16番から26番
	28番から36番
南千束二丁目	17番から32番
南千束三丁目	全域
東雪谷一丁目	1番の一部
	2番から26番
	27番の一部
	29番の一部
	30番から35番

東雪谷二丁目	1番から10番
南雪谷一丁目	1番から5番
南雪谷二丁目	1番
	15番の一部
	16番から21番
雪谷大塚町	全域
田園調布本町	50番
	51番
田園調布一丁目	1番の一部



３　他施設との複合化の検討

公共施設の整備にあたっては、「大田区公共施設整備計画(後期)」及び「大田区公共施設適正配置方針」に基づき、公共施設の複合化を推進していくことが区の方向性として示されています。

石川台中学校の改築に際しても、良好な教育環境を確保することを前提として、建物の容積率を活用し、地域特性や行政需要に応じた機能を置き込む複合化について検討しました。

その結果、既存以上の校庭面積を確保すること、学習環境の充実を考慮すると当該敷地に複合化に要する余剰面積が少ないため、複合化を行わないという結論に至りました。

第３章　基本構想

1　アンケート及び生徒ヒアリングの実施結果

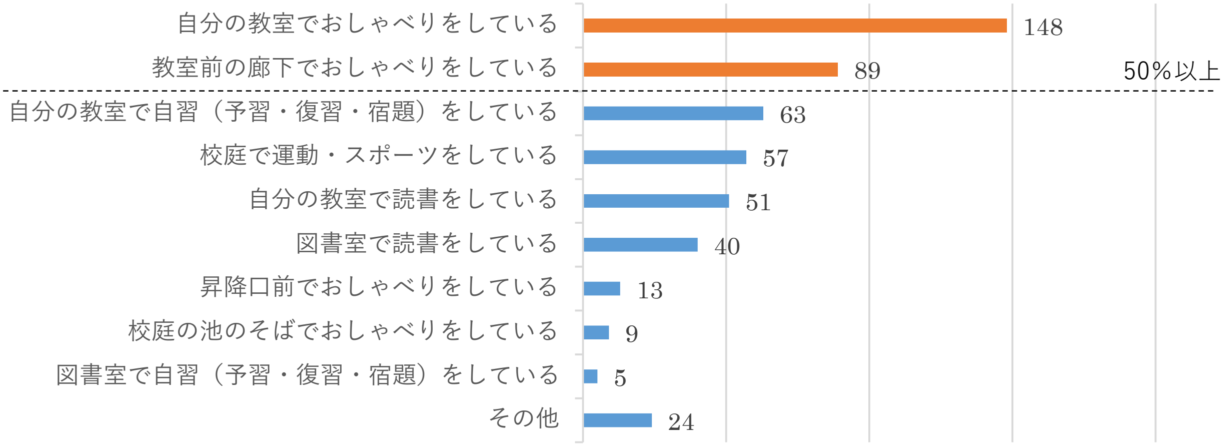
2　コンセプト・施設整備方針

第３章　基本構想

１　アンケート及び生徒ヒアリングの実施結果

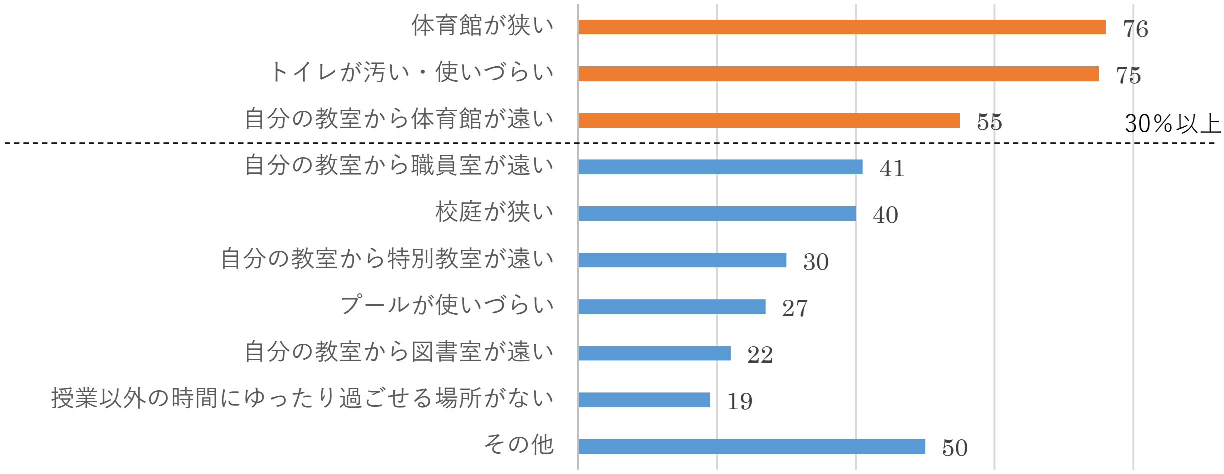
生徒向けアンケート　回答者数：170 名　在籍生徒数：210 名　回答率：81％

＜質問１＞　昼休みをよく過ごしている場所はどこですか？また、何をして過ごしていますか？あてはまるもの３つに○をつけて下さい。



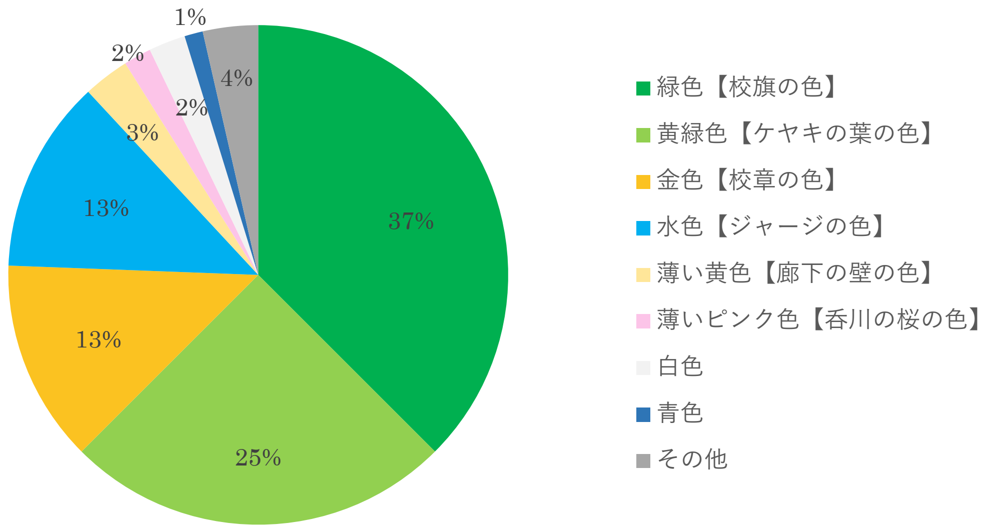
その他…　教室で絵を書いている、先生と話をしている、委員会の仕事をしている、有志の合唱の練習をしている、学校を歩いている、など

＜質問２＞　今の学校で不便なところや使いづらいと感じるところはありますか？あてはまるもの全てに○をつけて下さい。

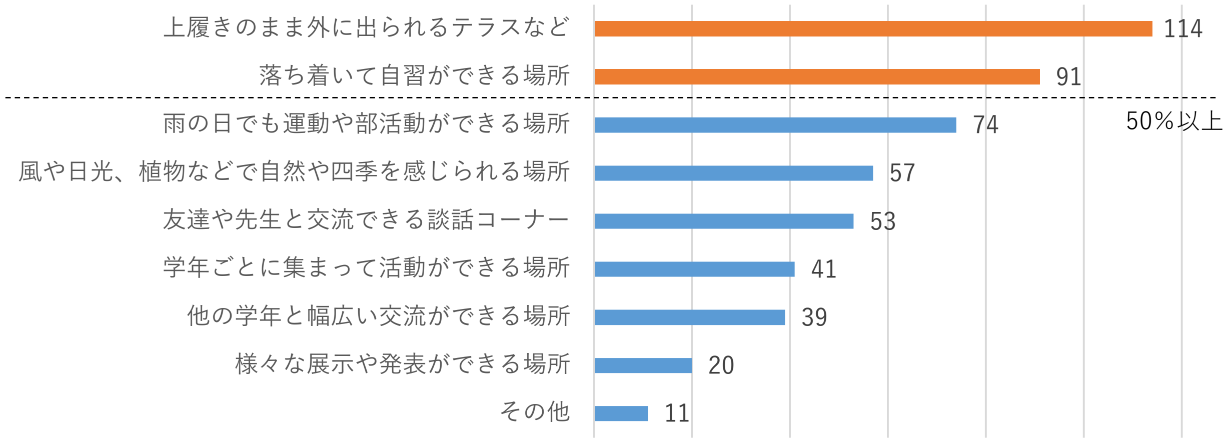


その他…　冷房が効いていない、トイレの数が足りない、違うクラスの人と喋れる場所が少ない、自習室がない、校舎が古い・汚い、校庭が砂(土)、特活室から近い更衣室がない、など

＜質問３＞　**石川台中学校のイメージカラーは何色だと思いますか？あてはまるもの１つに○をつけて下さい。**

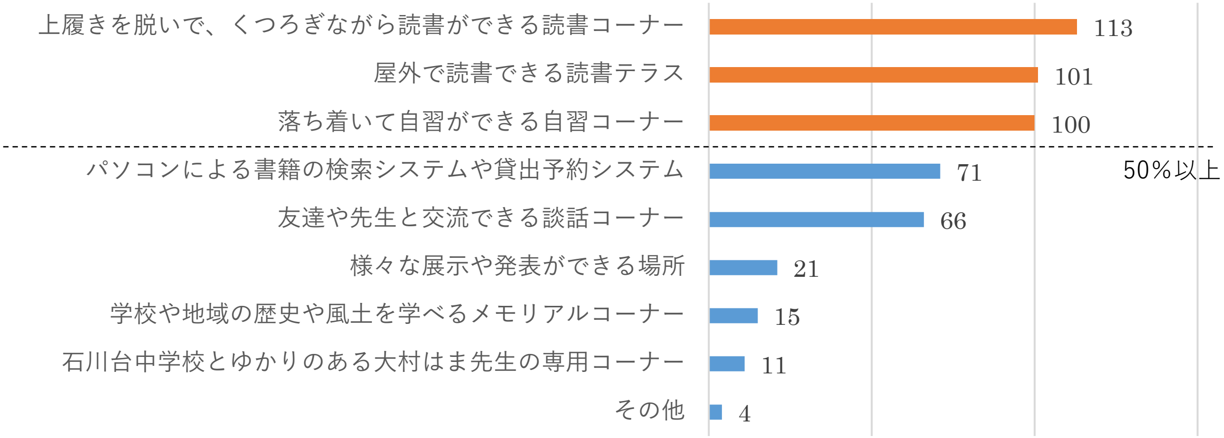


＜質問４＞　**新しい学校にあると良いものはありますか？特にあてはまるもの３つに○をつけて下さい。**



その他…　一人で静かになれる場所、休憩スペース、更衣室を増やして欲しい、部室、自動販売機、体育館が２つ欲しい、など

＜質問５＞　今回の改築にあたって図書室の充実を一つの目標としております。そこで、新しい学校の図書室にあると良いと思うものはありますか？特にあてはまるもの３つに〇をつけて下さい。



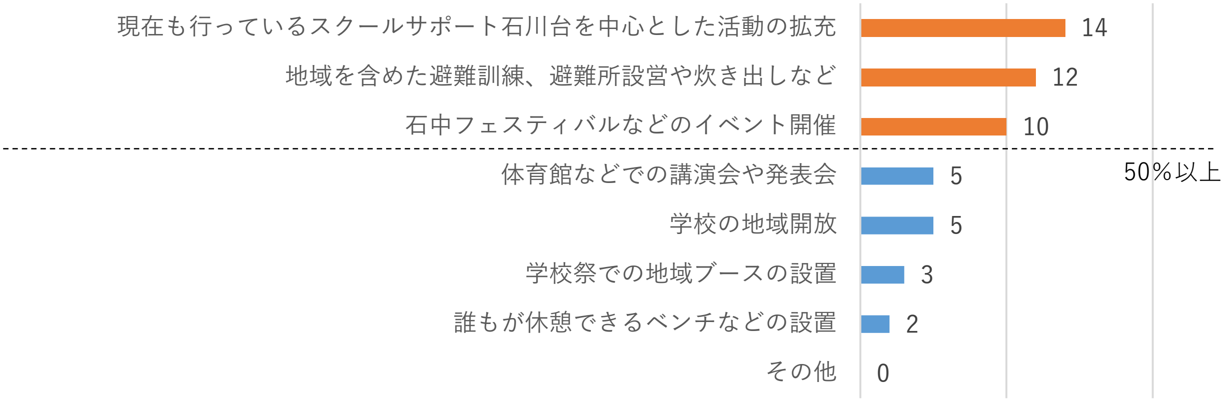
その他…　蔵書の種類を増やして欲しい、話せる場所が欲しい、など

教職員向けアンケート　回答者数：17 名

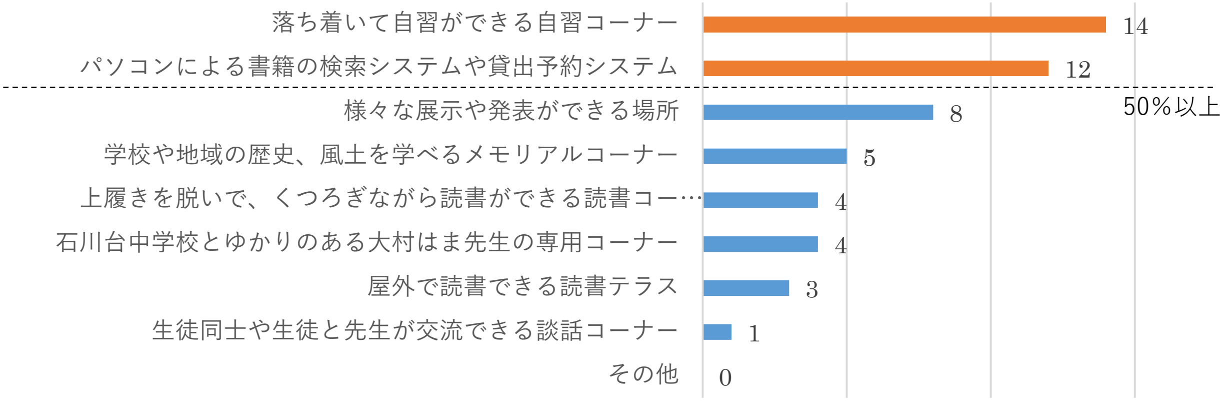
＜質問１＞　新校舎に特に期待するものは何ですが？あてはまる項目３つに○をつけて下さい。

その他…　学校図書館を中心とした情報センターを持ち、探求学習や読書活動を行いやすい学校

＜質問２＞　地域と学校の連携を深める方法として、特に期待できるものは何ですが？あてはまる項目３つに○をつけて下さい。※計画のコンセプト検討の参考とさせていただくための質問であり、必ずしも採用・実現されるものではございません。



＜質問３＞　**石川台中学校は大田区教育委員会研究推進校として「読解力を向上させる指導の工夫」について研究実践を進めるなど、国語教育の充実において特色を持っていることから、今回の改築にあたって図書室の充実を一つの目標としております。そこで、新しい学校の図書室にあると良いと思うものはありますか？特にあてはまるもの３つに○をつけて下さい。**



＜質問４＞　石川台中学校の良いところや新しい学校に継承したい特徴、特色ある活動などはありますか？

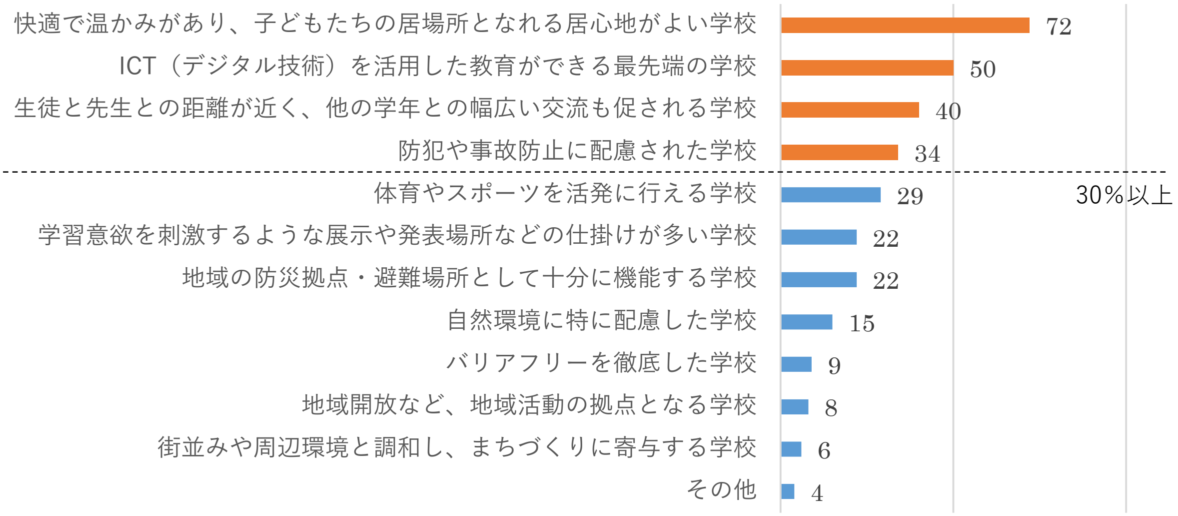
分類		回答	回答数
小規模校	縦割り活動	少人数を生かした縦割りの活動	2
		縦割り活動	
	異学年交流	他学年の生徒とも交流がある（仲が良い）ところ	2
		先輩後輩の関わりが深い	
		温かさ	1
		小さい学校ならではの生徒と先生方との関係が密であり、学校全体で生徒を見守っていくという姿勢が素晴らしい。	1
植栽		花壇	1
		校庭にあるさまざまなな木々	1
		実のなる木がたくさんある	1
		欅の木	1
		緑の多い校舎	1
行事		子どもたちが地域の一員として役立つ存在であることを自分で意識できる行事等。石中フェスティバルや防災訓練、お祭りの手伝いなど。	1
		石中フェスティバル	1
		親と子の綱引き	1
		体育祭の３学年合同種目（へび皮、棒引き）	1
その他		生徒が主体となって中心となって活動するところが継承したい特徴の１つです。	1
		専門委員会の委員長を選挙で選ぶこと	1
		常に開かれた授業公開	1
		学校で作る美味しい給食	1

＜質問５＞　今回の改築事業に対するご要望があれば、ご記入願います。

<table>
<tr><th colspan="2">分類</th><th>回答</th><th>回答数</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">ICT 関連</td><td>ICT や、教材が使いやすいようにしてほしい</td><td>1</td></tr>
<tr><td>一人一台のタブレットが今後も継続されるのであれば、各教室に生徒用タブレットの保管庫（充電可能なもの）が備え付けてあると便利だと思います。</td><td>1</td></tr>
<tr><td>最先端の技術も取り入れる中でも、地域、生徒達、先生方の温かいコミュニケーションがとれる学校であってほしいです。</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">図書室</td><td>学校図書館協議会の学校図書館施設基準の示す通り、学校図書館の面積は同時に２学級が授業を行える広さを確保してほしい。また、図書準備室は必ず設置してほしい。</td><td>1</td></tr>
<tr><td>図書室の充実</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">植栽・自然</td><td>開放的で自然を感じられる校舎</td><td>1</td></tr>
<tr><td>地域に開かれた学校花などの景観が地域に役立つと良い</td><td>1</td></tr>
<tr><td rowspan="4">トイレ</td><td rowspan="2">誰でもトイレ</td><td>誰でもトイレの設置</td><td rowspan="2">2</td></tr>
<tr><td>だれでもトイレの設置</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>トイレの場所を増やす</td><td>1</td></tr>
<tr><td>全てトイレの洋式化</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">配置・動線計画</td><td>教員室、保健室、相談室は近くに配置</td><td>1</td></tr>
<tr><td>上履き、外履きが区別できる導線</td><td>1</td></tr>
<tr><td>特別支援学級を１階に作る</td><td>1</td></tr>
<tr><td>毎日の生活を考えた動線や、過ごしやすさを重視していただきたいと思います。</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">体育施設</td><td>生徒用更衣室</td><td>1</td></tr>
<tr><td>室内プール</td><td>1</td></tr>
<tr><td>グラウンド（２００ｍトラック）と体育館（正バスケットコート）を広くしたい</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">設備</td><td>欠席者、保健室利用者等、手書きでなく教員室にモニター表示できるようなシステム導入（教員用タブレットでも閲覧可、新着情報テロップで流れるような）</td><td>1</td></tr>
<tr><td>廊下に電子掲示板</td><td>1</td></tr>
<tr><td>廊下に時計</td><td>1</td></tr>
<tr><td>全館空調</td><td>1</td></tr>
<tr><td>全教室等に内線設置</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">その他</td><td>個別の下駄箱</td><td>1</td></tr>
<tr><td>生徒用ロッカーもっと大きく</td><td>1</td></tr>
<tr><td>調理室の老朽化の改善</td><td>1</td></tr>
<tr><td>改築に伴う学習活動への影響を最小限にしていただきたいです。特に運動場の仕様に関して。</td><td>1</td></tr>
</table>

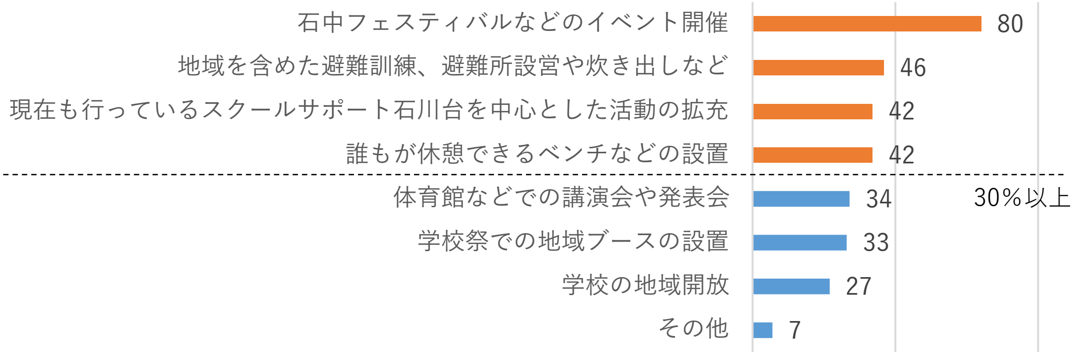
保護者向けアンケート 回答者数：103 名

＜質問１＞ 石川台中学校が改築されるにあたり、新校舎に特に期待するものは何ですか？あてはまる項目３つに○をつけて下さい。



その他… 冷暖房設備が整っている学校、校庭がタータンの学校、子どもが精神的(ストレス)にも肉体的(寒暖差)にも快適に過ごせる学校

＜質問２＞ 地域と学校の連携を深める方法として、特に期待できるものは何ですか？あてはまる項目３つに○をつけて下さい。※計画のコンセプト検討の参考とさせていただくための質問であり、必ずしも採用・実現されるものではございません。



その他… ・体育館を一般開放して欲しい

・地域サークル活動等への、校庭、体育館、教室の貸出

・暑さをしのげるクーラー室 など

＜質問３＞　石川台中学校の良いところや新しい学校に継承したい特徴、特色ある活動などはありますか？

分類		回答	回答数
植栽・自然	自然豊か	石中の魅力のひとつである、豊かな自然は継承してほしい。	8
		緑が多い	
		校庭の木や花壇が整備され、呑川沿いの桜もあり自然を感じることができる	
		自然が豊かで、開放感のある校庭。	
		緑や池、花があるところ	
		学校の周りの植栽を楽しませてもらってます。呑川の桜も綺麗ですし、そこは継承して欲しいです。	
		植栽がたくさんある	
		緑や植物が多い校庭や外周の雰囲気	
	実のなる木	果物が成る樹木があるのはいいと思います。	2
		学校の敷地内に、実がなる木がたくさんあるところ。切らずに残してほしい。	
		欅の木	1
小規模校	先生と生徒の距離	先生と生徒の距離が近い	12
		生徒と先生の距離が近い	
		小規模で、先生方が生徒１人ひとりを把握して下さっているところです。	
		少人数校ならではの、生徒個々人への目が行き届いた教育。	
		生徒と先生との距離が近く感じます。校長先生を始め、先生方が生徒の名前を覚えて下さり、保護者に対しても、子供の学校での様子話を気さくに話しかけて下さるのが、とても温かく嬉しく感じます。子供達も同じように感じていると思います。信頼感も生まれ、安心してお任せしています。	
		まだ１年なので、始まったばかりですが先生方の対応は親切だと感じます。	
		程よい生徒数で、先生方が生徒達としっかり向き合って下さっていること。	
		先生と生徒の距離が近いところ	
		先生と生徒の距離が近いところ	
		充実した生徒と教諭の方々とのコミュニケーション	
		先生と生徒の垣根が高くない所。	
		少ない生徒数なので先生の目が行き届く所	
	異学年交流	生徒数が少ないからこそ出来る学年を超えた交流。	4
		小規模模校ならではの縦の繋がりやアットホーム感	
		少人数で子供も大体の学年の顔や名前など知っていて良い。	

		学年を超えて仲が良い所。	
	アットホーム	少人数でアットホームなところ。	5
		小規模校で生徒たちが快適に過ごせる	
		少人数ならではの温かみのある環境	
		小規模的な環境	
		アットフォームなところ	
	生徒の活動	小規模ならではの生徒一人一人が活躍できる活動	2
		色々な活動を通して成長できる所	
		生徒がの生き生きと活動ができ、先生に対する意見もちゃんと言える環境作りをして欲しいです。	1
		校内での英語、数学の補習教室は続けて欲しいです。	1
		少人数制	1
落ち着いた校風		目新しくはないけれど、安心感と落ち着きのある校風	2
		子供の学年は荒れておらず平和に学校生活をおくれているようなので今後もそういった学校の運営を続けていただければと思います。	
挨拶		とても礼儀正しく挨拶なども出来る生徒が多いと思います。引き続き継承して欲しいです。	2
		挨拶運動	
地域ボランティア		地域のボランティア活動への参加	3
		地域のお祭りのお手伝い	
		KFC プロジェクト等のボランティア活動や盆踊りやスポーツ祭り等の地域の行事への参加は続いて欲しいと思います。	
行事		石中フェスティバルやけやき祭	1
		石フェスの規模の拡大…食べ物露店を増やし、希望で地域の人がフリーマーケットなどを開いたりできたら楽しそう	1
		近隣の中学では参加していない N コンに参加して子供も頑張っているので残した方がいい	1
その他		卒業生や卒業された保護者の方が学校のためにボランティアをしてくれる	1
		明るい雰囲気の玄関。	1
		受験に偏っていない教育	1
		地域のサッカーなどスポーツで、校庭や体育館を提供しているところ。	1
		先生同士が仲が良さそうな所。	1
		校長先生の、石中生に対して愛情を強く感じる所。	1
		職場体験	1
		父母教の会の飲み会	1
		特に思いつきません。むしろどんどん改革してもらいたいと思っています。	1
		今のままで。	1

＜質問４＞　今回の改築事業に対するご要望があれば、ご記入願います。

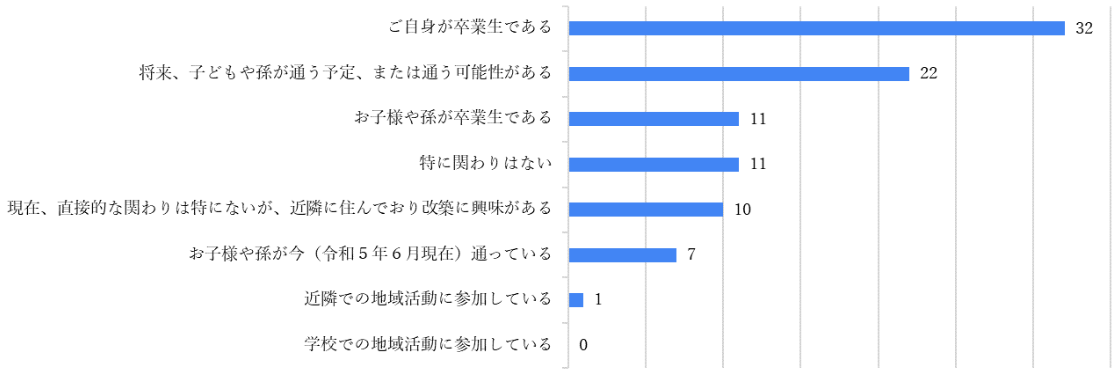
分類		回答	回答数
最先端の教育環境	電子黒板	改築事業に関わるかはわからないが、電子黒板にすぐに接続できるパソコンを各クラスに設置してほしい。（投影用のタブレットとオンライン配信用のタブレット、教科の準備を持っていくと荷物が常に多量になるため。）	1
		現在は電子黒板への書き込みがホワイトボードマーカーで行われているが、できれば電子ペンを導入し、電子黒板の利便性をより高めてほしい。	1
	ICT	ICT を活用した大田区内でも教育が進んだ学校にしてください に	3
		優秀な生徒が多いので、ICT(デジタル技術）を活用した教育が出来る環境と教員の実習等も整えてほしいです。	
		個人学習と協働的な学び（アクティブラーニングなど）を、ICT を活用しながら円滑に推進できる環境。	
		メディアセンターを充実させてほしい	1
		通常の黒板の縦幅を、もう少し広いものにしてほしい。（縦書きで用いると板書できる文字量が少なく、表形式で示す際などには極めて手狭になる）	1
校舎	温もりのある校舎	木の温もりなどは残しつつ、双方向の授業が促進されるような設計にできると良いかと思います	2
		温もりを感じられる校舎にしてほしい	
	快適な学習環境	子どもたちがリラックスしてのびのびと学べる環境。	5
		生徒が充実した学校生活を送れる環境を整えて欲しいです	
		生徒たちが快適に過ごせる学校であってほしいです	
		改築で生徒が更に安心して快適に勉強や活動を行えると良いです。	
		勉強や運動等、子供が楽しく通えて学べる素敵な校舎にして欲しい	
	交流空間	フリースペースやランチルームの設置	1
		学年ごとの教室近くに集まる場所(ホール)があると良い。	1
		プレゼンテーションや、発表の場や、ラウンジ等、交流を目的とした場所作り。	1
		現場の先生方、生徒たちにとって使い勝手が良いことが大事だと思います。	1

		様々な特性や障害をもつ子どもが増える中、地域のすべての子どもを受け入れることが出来る校舎を設計していただきたいです。一見無駄に見える空間であっても、配慮のうえで作られた空間は必要と思います。児童心理治療施設や最近改築した特別支援学校のハードウェアも取り入れた新しいユニバーサルな校舎を期待します。	1
工事関連	工事工期	工事期間はできるだけ短い方がいい	2
		スケジュールよりも早く進むようにお願いします	
	工事中の影響	改築期間中の子供達の活動がなるべく制限されないよう代替活動を検討してほしい。私の学生時代ですが、大田区立中在学中、駒澤競技場での陸上競技大会、多摩川でのマラソン大会が開催されよい思い出となっている。	5
		工事の影響で学習に支障が出ない配慮等をお願いしたい。騒音、冷暖房環境、代替教室の環境等。	
		改修工事の期間にプレハブ校舎になったり校庭の利用が制限されたりする事は仕方がない事かもしれませんが、在校生徒への影響が極力少ないように配慮して頂ければと思います。改修工事が無かった世代と同じような学校生活で卒業できるように学校行事だけでは無く日々の授業や休み時間も充実した過ごし方が出来るように工事の仕方を検討して頂けると有難いです。	
		改築中も生徒がのびのびと活動できる配慮をお願いしたい。仮設校舎をなるべく作らず、近辺の学校の空き教室などを活用し、校庭が使えない＆狭い、ということがないようにしていただきたい。	
		改築中でも在校生が快適に過ごせる	
地域		地域に開かれた学校	1
		小学生のスポーツチームへの解放など行うことで馴染みができる。	1
		地域の風景と統一感のある建物になるといいです。	1
トイレ		トイレを改造してより清潔感があり明るい場所にして欲しい。	2
		トイレをきれいにしていただきたいです。	
プール・更衣室		プールや更衣室などを衛生的な環境に。	2
		プールと更衣室の完備	
校庭・校門		校庭をタータンにしてほしい	1
		校庭を人工芝にしてもらいたい	1
		校庭が使いやすい環境になってほしい	1
		呑み川沿いの少し暗いイメージがあるので正門付近は広々と明るい雰囲気を作ってもらいたい。	1
植栽		みかんの木や季節の花が今と変わらず実り咲く学校であって欲しいです。	1

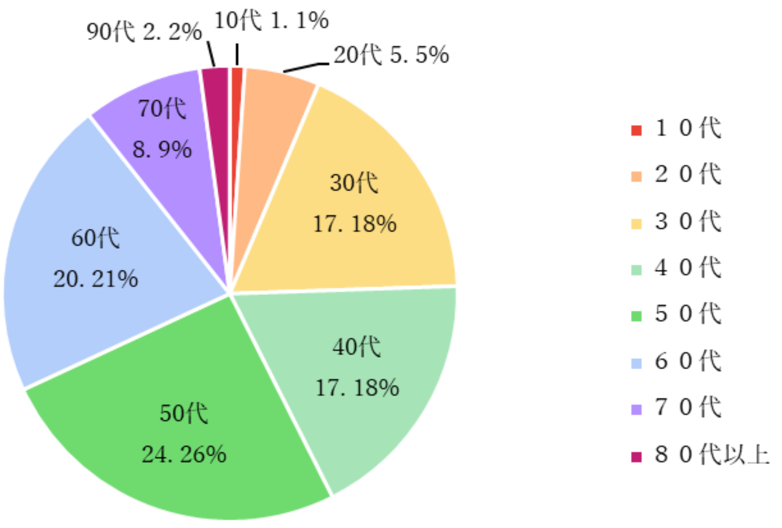
安全・安心	耐震	大型の地震は必ず来るとわかっているので、それに耐えうる物が出来たらいいなと思います。	1
	避難所	避難所としての設備が整った学校	2
		地域の避難場所には今の体育館では狭い気がするので広くした方が良いではないでしょうか。	
	防犯	昨今の犯罪を考えると、改築中も改築後も防犯面については特に意識していただきたいです。	2
		防犯対策の強化を希望致します。	
		新しい教室や施設を設置する場合も、安全第一で、きちんと目の行き届く空間にして頂きたい。	1
		盗撮防止用のプールの屋根の設置	1
その他		5G を発するアンテナは付けないで欲しい。	1
		今通っている子供たちの意見を、たくさん取り入れて欲しいです。	1
		生徒や父母も改築に携われたら記念に残るかと思います。	1
		施設が古い	1
		猛暑のときは、ためらわず、クーラーをきかせてほしい。	1
		未来を見据えた改築になると良いと考えます。	1
		説明会の実施	1
		日本の学校は薄暗くて子供の施設に見えないので明るい建物にしてほしい。	1

地域向けアンケート 回答者数：94 名

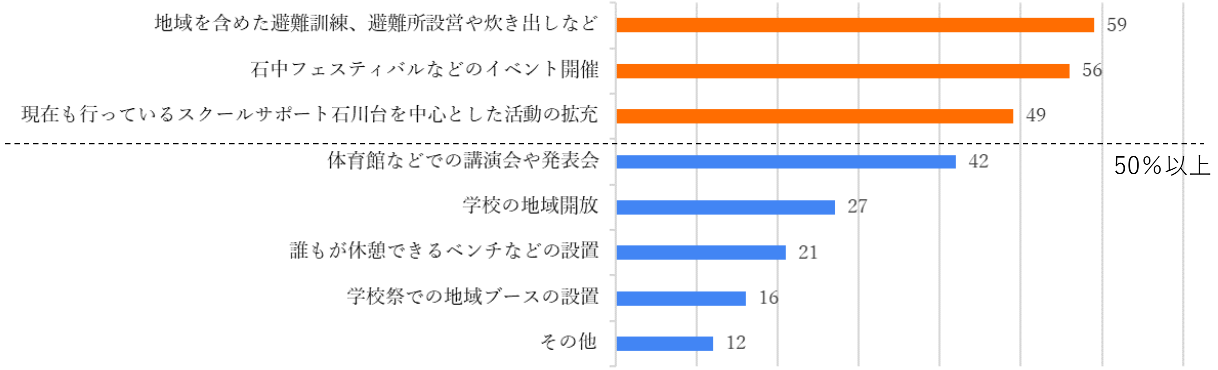
＜質問１＞　**大田区立石川台中学校とのご自身の関わりについてあてはまるものに〇を付けて下さい。**



＜質問２＞　**ご自身のご年代を教えてください。**

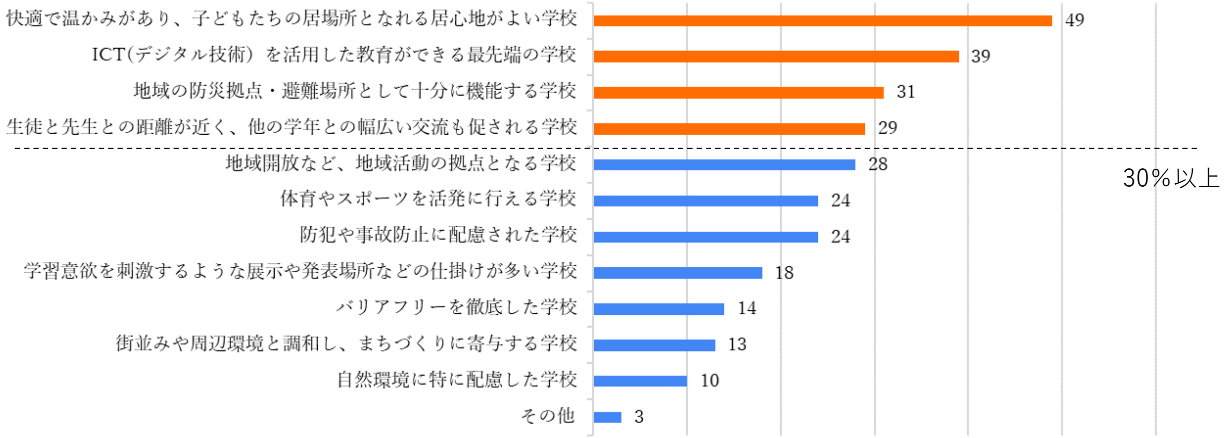


＜質問３＞　**地域と学校の連携を深める方法として、特に期待できるものは何ですか？あてはまる項目３つに○をつけて下さい。※計画のコンセプト検討の参考とさせていただくための質問であり、必ずしも採用・実現されるものではございません。**



その他…　地域の子どもたちとの交流、音楽フェス、人生の先輩として仕事内容の紹介、生徒の地域ボランティア参加、室内競技等への体育館の時間貸し利用、地域住民も利用可能な図書館、デイサービスや保育園の併設、など

＜質問４＞　**石川台中学校が改築するにあたり、新校舎に特に期待するものは何ですか？あてはまるもの３つに○をつけて下さい。**



その他…　野球部の環境向上(グランド整備)、地域にも開かれた施設としての位置づけ、物理・科学教育施設の充実、など

＜質問５＞　新しい学校に継承したい石川台中の特色ある活動などはありますか？

分類		回答	回答数
行事	体育祭	立派な体育祭	2
		体育祭	
	石中フェスティバル	石中フェスティバル	8
	合唱祭	合唱	2
		合唱コンクール	
教育		国語教育	2
		国語以外の語学などこの先の未来に役立つような勉強ができるように異文化交流などあったらいいなと思います。	
学校内の活動	部活動	バランスの取れた部活動	1
		電気工作部	1
	文武両道	スポーツに力を入れた中学校へ	3
		文武両道を活かした教育、	
		力をそそいだ音楽やスポーツ	
		生徒会活動	1
		美化活動	3
		清掃活動	
		学校内の美化清掃	
		園芸活動	1
小規模校		少人数クラス編成	2
		少人数で先生達がよく見ていただけてる学校だと伺っています。是非継承頂きたいです。	
		活動ではないのですが、石中の穏やかな校風は失わないでほしいです。あまりマンモス校にはなってほしくないです。（今は小規模過ぎる気がしますが）	1
		先生と生徒の距離の近さ	1
		学校に通う子供達が親しみやすい居心地の良い場所	1
地域との交流	地域ボランティア	地域のお祭りなどのボランティア活動	3
		地域へのボランティア活動	
		地域との交流やボランティア活動	
		朝の挨拶運動 商店街の盆踊りへ出店	1
		地域のお祭りへの参加	1
		生徒と地域住民との交流の機会設置。たとえば様々な職業を持つ方の授業形式での職業レクチャーなど。	1
		地域の歴史的な建造物や行事の継承。	1
		地域コミュニケーション拠点	1
		体育館や校庭の開放	1
自然		東京だが自然が多い。	1

	花壇や植木の充実	1
その他	特色かわかりませんが、人数の少なさを活かした一人ひとりの担当範囲が広い活動を若い時に経験させるような学校だといいですね。	1
	卒業生としてよい学校としての継承をお願いしたいと思います。	1
	特別支援学級、けやき祭　合唱コンクール、体育祭、修学旅行、職場体験活動、花と緑の学校、意見を出し考える道徳、ITC活用授業	1
	良い伝統	1
	同窓会、個人情報保護の関係か同窓生や昔の担任の情報がまるで手に入らなくなった。この状態では昔の石中とは縁が切れる。	1
	私が在籍していた頃はまだ木造・モルタルの校舎でしたが、清掃がゆき届いており、木の床は古くてもピカピカでした。改築してもきれいな校舎を保ってほしい。国語教育も引き続き継承してほしいが、国際化時代となり英語教育にも力を入れてはどうか。	1
	食生活・重建築・文化活動の中で、特に重点的活動を選択し、中核にして、教職員のバックアップの元に学生生活が有意義になる活動をする。東工大との連携の為に近くにある、交流は！	1
	石中から世界へ　（1）スポーツで世界と競争できる人材育成（2）IT 技術で世界と競争できる人材育成	1

＜質問６＞　新しい学校に継承したい石川台中の特色ある活動などはありますか？

分類		回答	回答数
ICT 関連		ICT 関連の授業の設備と内容の充実を願いたい	1
		デジタル技術を活用した教育ができる最先端設備の導入	1
		ICT 教育の整備に力を入れてもらいたい。災害時にも ICT インフラとしてのコミュニケーションを期待します。	1
校舎	校舎	真四角な校舎ではなくデザイン性を豊かに。	1
		地域に合った外観	1
		街の雰囲気に合うモダンな校舎がいいです	1
		100 年先を見据えた建築、学校教育、地域に根ざした学校の姿を描いて進めて欲しいです。	1
		公立にありがちな外観でなく、生徒も地域の人も集まりやすい、開かれたおしゃれ感のある学校だと素敵だと思います	1
		近代的な外観と内装。制服の改革。	1
		柔らかみのある温かい特徴ある校舎	1
	空間	学生ファーストで、変なストレスがかからないような学校環境にして欲しいです。	1
		子供が通いたくなるような明るい校舎で学業に専念しやすいような環境を整えて欲しいです。図書館やワークスペースなども充実していたらいいなと思います。	1
		自習スペースを提供してほしい。長期休暇中、部活の前後に自習スペースが勉強に使えると助かる。	1
		生徒が一学年２クラスで少ないですね。昔は５クラスでした。生徒の数に合わせた小ぢんまりした校舎で良いのではないですか。	1
		子供達はもとより誰もが集える学校になればと思います	1
		イジメが無くなるような仕組み	1
		子供たちや先生方が過ごしやすい使いやすい設計	1
		学校としての本分(教育)をお願いします	1
		こどもたちの安全にのびのびと学習できる環境になるとよいと思います。	1
		とにかく、デザイン、設備等、画一的、一般的なものにすることなく、生徒の自主性、多様性を重んじ、人間性を育むことの出来る校舎を目指して欲しい。	1
		生徒が快適に中学生活を送れるようご配慮お願いします	1
		生徒も先生も過ごしやすくて綺麗になって欲しいです	1
		生徒の安全、安心、居心地などに配慮した素材を熟考してくだされ	1
		生徒数の増加に柔軟に対応できるようにして欲しいです。	1

	可変性	これから少子化で生徒が少なくなるなら、６中に合併でも良い。跡地はスポーツセンターとかにしたら。	1
外部空間	学校外	香川の桜との景観バランスに配慮が欲しい	1
		近隣の自然を活かした学校にして欲しい	1
	学校内	土の校庭を維持して欲しい	1
		野球ができるグランドの整備をお願いしたいです。	1
		石中の象徴である、けやきの木は残してほしいです！地域柄、優秀な生徒が多いので、ますます学習に力が入れられる環境になることはとても良いことだと思います。	1
		子供達が過ごしやすい学校になるといいなと思います。グラウンドが狭くなりませんように。	1
		樹木を残して欲しい。	1
		校庭に日影を用意してあげてほしい。	1
	動線	授業中の防犯も大事かと思いますが、それ以外の時間に外部の人が使いやすい動線を考えた改築をしてもらえたらと思います。	1
図書		近隣の洗足池図書館にはティーンエイジャー・ヤングアダルト向けの書籍が少ないように感じます。そこで、学校図書館の蔵書に中高生向けの本も取り揃え、地域の人も利用できるようにしていただけると嬉しいです。	1
工事関連	工事工期	早めの完成を期待しております。	2
		なるべく早く完成させてほしいです。	
		計画や進捗の開示	1
	工事	改装期間中に通学することになる生徒への配慮をぜひお願いします。	1
		工事中、在校生の学校生活に支障がなるべくないようにご配慮いただきたい。	1
		生徒の活動が出来るだけ制限されないような事業の進め方の配慮	1
		在校生の影響を最小限にする配慮は必要ではないかと思います。	1
		安全第一でお願いします。	1
		工事中に在校する生徒に負担が集中しないよう配慮をしていただきたいです	1
安心・安全		昨今、不審者侵入のニュースが多いため、それを防げる様な作りにしてあげて欲しいです。	1
		安全で過ごしやすい学校づくりを宜しくお願い致します	1
		障害のある生徒や地域の方、高齢者、乳幼児が施設を利用、移動するときに不自由なくすむ様な改築を希望します。	1

	避難所等になることも踏まえてバリアフリーを徹底してほしいです。	1
災害	災害等避難所として、快適に過ごせる様に改築して貰えたらと思う	1
	呑川沿いにあり災害拠点としての機能を充実して欲しいです	1
	災害時への対応を、充分に備えた改築を行って欲しい	1
	災害に強い校舎をつくり災害拠点として地域と繋がりのあるかたちに。	1
トイレ	子供が公立小に通っており、お手洗いの臭いが気になりトイレを我慢する傾向があります。健康問題にも関わることなのでトイレや水回りの整備は是非お願いしたいです。	1
	洗面所やトイレなどの環境整備が一層整うことを希望	1
施設・機能	他校に無い先進的な設備導入	1
	環境への配慮	1
	扉の建付けを良くして欲しい	1
	大田区出張所も施設横に入れたらどうか？	1
	石川台中学に石川台小学校を加えて、小中一貫校にしてはいかがでしょうか。	1
	子どもたちが病気にならず、元気に過ごせる環境整備をしてほしい。また、先生たちの待遇も考慮してほしい。	1
地域	地域の人に校庭が開放されると良い	1
	障害者の方と共存できる石中にしてほしい。改築後は地域の方も参加できる学校祭（屋台のスペース等）の場所も確保してほしい。	1
	区の主な施設は区の南のエリアに偏っており、ここ北のエリアは図書館と洗足池公園ぐらいで、区の施設の恩恵を受けることが殆ど皆無である。石川町文化センターのホールではあまりにも貧弱過ぎる。従ってもっと地域に開かれるべく、蒲田中央体育館の様に(夜間になると思うが)地域の人が気軽に様々なスポーツ活動を行える様にして頂きたい。	1
その他	今後通うことになるかと思うので、今回の場合改築事業には力を入れてほしいです。	1
	大田区が誇れるモデル校となり得る中学校へ	1
	少しずれるかもしれないですが、意味のない校則(男子生徒の夏の長袖 Y シャツは禁止など)は見直し、SGBT などに配慮した生徒主体の自治を推進してほしい。先生方の気持ちの改革も必要だと思います。	1
	築 50 年以上とのこと、校舎が刷新されれば嬉しいです。大森 6 中が華やかで教育や部活に力を入れている印象があるのですが、石中も誇れるものがあると嬉しいとおもいます。	1
	出来上がるのを楽しみにしています	1

生徒ヒアリング

生徒会のみなさんにご協力いただき、生徒ヒアリングを実施しました。アンケートの質問を深掘りし、「新しい学校にあると良いもの」「未来の石川台中学校に継承したいもの」について、施設方針案・コンセプト案を作成するためのキーワード抽出の参考となる様々なご意見を頂きました。

■新しい学校にあると良いもの
・廊下でおしゃべりしていると、廊下を行き交う人の邪魔になってしまうので、廊下の幅を広くしてほしい
・他の人の椅子に座ったり、他クラスに入ることが禁止されているので、教室内や廊下に共用スペースがほしい
・教室とは別に大勢で話せる部屋がほしい
・静かさもありつつ、ある程度会話が可能な自習室がほしい
・現在、運動できる場所が校庭のみなので、屋上や体育館を開放してほしい
・校庭をゴムチップにしてほしい
・学校敷地内の一部に芝生部分がほしい
・雨の日は、過ごす場所がより制限されるので、図書室が混雑してしまう
・廊下の空調機能を導入してほしい
・廊下だけの空間等、無駄なスペースをなくして有効活用してほしい
・人数に見合った教室の大きさにしてほしい
・現在は一学年２クラスだが、３クラスに対応させてほしい(教室数を増やしてほしい)
・特別教科教室をまとめてほしい
・一学年収容可能な大きさの教室がほしい
・生徒会室に空調設備を設けたい
・プールまでの動線は、外履きに履き替えが不要な計画にしてほしい
・楽器の移動を考慮して、体育館と音楽室は近接させたい
・体育倉庫は体育館の近くにし、校庭の面積をできるだけ多く確保したい
・池はなくなってもよい
・雨の日に集まれる屋根付きの外部空間(ピロティ)がほしい
・校舎裏に余分なスペースが多いので敷地を最大限有効活用してほしい
・校庭から見やすい位置に時計を掲示したい
・部活動の利便性を向上するために、テニスコートを独立させてほしい
・体育館の下部に教室を作るのも一つの案として良さそう

■新しい図書館にあるといいもの

・上履きを脱いで過ごすスペースがほしい

・机の高さは、低い方が読みやすい

■石川台中に残したいもの・雰囲気

・上下関係が少ない

・廊下が直線なため教室配置が明快で移動しやすい

2　コンセプト・施設整備方針

石川台中学校の特徴、歴史、教育目標や「新おおた重点プログラム」に加え、学校改築懇談会及びアンケートの中で集められた新しい石川台中学校へのご意見をもとに、コンセプト案を作成するためのキーワードを抽出しました。さらに、学校改築懇談会での意見交換を通じてキーワードを整理し、コンセプト及びその実現に向けた施設整備方針を策定しました。

＜石川台中学校の特徴＞（学校要覧より抜粋）

・小規模校のよさを活かした学習や異学年交流
・「読解力を向上させる指導の工夫」への取り組み
・三大行事と四大ボランティア
・スクールサポート石川台などの活動

＜石川台中学校の教育目標＞

「思考力に富む生徒」
「実行力のある生徒」
「情操の豊かな生徒」

＜未来の石川台中学校に求められているもの＞（アンケート結果より）

・落ち着いて学習できる環境
・学年分け隔てなく交流できる場所
・自然を感じながら過ごせる場所
・衛生的なトイレやプール
・最先端の教育ができる環境
・防犯や事故防止への配慮
・リラックスして過ごせる場所
・十分な広さの校庭や体育館

＜区の整備指針＞

・学校や地域の特色を活かし、地域とともにある学校づくりを目指す
・石川台中学校が培ってきた国語教育の推進をはじめとし、各教科の学習効果を上げるための学校図書館機能や、ICT 活用による教育環境の充実に力を入れる

↓

■コンセプト案作成のためのキーワード

学校規模

「異学年交流」「あたたかい繋がり」「小さな学校」「コンパクト」
「アットホームな学校」「スモール・スクール」「リビング・スクール」「家」
「僕たち・私たちの学び舎」

特別支援学級への対応

「多様性ある子ども達」「ノーマライゼーション」「だれでも・だれにでも」
「すべての子ども達（生徒）」「共に育つ」「受け入れる（受容）」

国語教育の充実

「歴史」「伝統」「和」「言語力」「ことば」

図書館機能の充実

「スクールライブラリー」「ラーニング・コモンズ」「メディアセンター」「まなび」

思考力・実行力・情操の豊かさ

「思考力」「創造性」「育む」「生きる力」「成長」「アクティブ・ラーニング」
「自ら学ぶ」「豊かな空間」

安心・安全

「安心安全」「防災」「防犯」「衛生的」

環境・地域

「香川」「調布地区」「彩り豊かな自然」「ZEB」「持続可能」「サスティナブル」
「SDGs」「コミュニティー」「地域」

■コンセプト

コンセプト

石川台中学校の伝統と学年を超えたあたたかい繋がりを尊び、
多様性を受容するアットホームな学び舎
～「言葉の力」「感性」「未来を切り拓く力」を育む、
新しい時代にふさわしい彩り豊かな学びの空間の実現～

■施設整備方針

施設整備方針

学び：国語教育や学校図書館を中心に学習意欲を刺激する空間づくり
生活：心身ともに豊かな３年間を過ごせる心地良い空間づくり
共創：誰もが「共に育つ」ことができる多様な学びの空間づくり
安全：防犯や防災に配慮し、誰もが利用しやすく安心安全な施設づくり
環境：呑川緑道軸に接する豊かな周辺環境に調和し、省エネルギー化を目指した施設づくり

※「学び」「生活」「共創」「安全」「環境」は、文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」にて示されている５つの方向性より引用

第４章　基本計画策定の条件

１　石川台中学校の現況

（１）敷地概要

（２）関係法令等

（３）周辺道路状況

（４）既存校舎の概要

（５）モニュメント・既存樹などの状況

２　大田区立学校諸室等仕様標準

（１）配置計画

（２）ゾーニング計画

３　大田区立学校改築標準設計仕様書

第４章　基本計画策定の条件

１　石川台中学校の現況

（１）敷地概要

計画地	大田区石川町二丁目 23 番 1 号
建築敷地面積	11,504.00 ㎡
区域区分	市街化区域
用途地域	第一種低層住居専用地域
防火地域指定	準防火地域
その他地区指定	第一種高度地区、呑川景観形成重点地区
指定容積率	100%
容積率対象床面積	11,504.00 ㎡
指定建蔽率	70%(角地緩和、準防火地域内耐火建築物適用)
建蔽率対象面積	8,052.80 ㎡
前面道路幅員	東側：区道 1-39 号線(法 42 条 1 項 1 号)4.3m 西側：区道 1-43 号線(法 42 条 1 項 1 号)8.0m 北側：区道 1-100 号線(法 42 条 1 項 1 号)6.0m 南側：区道 1-112 号線(法 42 条 1 項 1 号)4.3m
日影規制	4h-2.5h/1.5m
斜線制限	道路斜線：該当、隣地斜線：該当なし、北側斜線：該当あり

（２）関係法令等

■建築基準法

関連法・条例等		内容
敷地と道路の関係	法第43条	接道2m以上
用途地域	法第48条	第一種低層住居専用地域
防火/準防火	法第61,62,67条	準防火地域
耐火/準耐火	法第27,61,62,67条	耐火建築物　※学校用途で３階以上の階を学校用途に供する場合、耐火建築物としなければならない
建ぺい率/容積率	法第52,53条	70%/100%
高度地区	法第58条	第１種高度地区
日影	法第56条の2	規定値（第一種低層住居専用地域 4.0h、2.5h）受影面高さ1.5m
高さ	法第55条	高さの最高限度：10m（特定行政庁の認定を受けることで12mまで緩和）
道路斜線	法第56条	H（計画建物の高さ）≦1.25×L、L≦20m
隣地斜線	法第56条	H（計画建物の高さ）≦1.25×L＋20m　※特定行政庁の指定なし
北側斜線	法第56条	H（計画建物の高さ）≦1.25×L＋5m
屋根の性能	法第62条, 令第136条の2の2	不燃材で造る、または葺くこと
外壁開口部の防火性能	法第63条	延焼のおそれのある部分は防火設備
採光	法第28条, 令第19,20条	教室：床面積1/5以上、または床面上50cm以上の窓等で有効採光面積のある場合1/7以上
換気	法第28条	床面積の1/20以上
化学物質の処置	法第28条の2	等級区分：F☆☆☆☆材料使用
昇降機	法第34条	昇降機は安全な構造で、かつ、その他昇降路の周壁及び開口部は防火上支障がない構造
避難、 消火に関する技術的基準	法第35条	避難設備及び消火設備は技術的基準に従う
天井高さ	令第21条	2.1m以上
階段	令第23,24条	階段、踊り場の幅：140cm以上、蹴上：180cm以下、踏面：260cm以上、直階段の踊り場の踏み幅：120cm以上 ※5階以上の階に通じる場合は避難階段または特別避難階段
斜路	令第26条	勾配1/8以下
特定天井	令第39条	吊り天井の場合　高さ6m以上で200㎡を超えるものかつ、天井面構成部材の単位面積質量が2kgを超えるもの ※文科省基準：高さが6mを超える天井、水平投影面積が200㎡を超える天井のいずれかに該当するもの
防火区画	令第112条	3階以上の階に居室がある階段・吹抜け等は準耐火構造・防火設備で区画 床面積の合計1,500㎡以内ごとに準耐火構造・特定防火設備で区画
防火上主要な間仕切り壁	令第114条	準耐火構造以上
廊下幅	令第119条	両側居室の場合：2.3m以上、その他の場合：1.8m以上
直通階段までの歩行距離	令第120,121条	避難階以外の階での直通階段までの歩行距離：50m以下（重複距離25m以下）内装制限有で60m以下（重複距離30m以下）
２以上の直通階段	令第121条	5階以下の階の居室の床面積の合計　避難階の直上階：400㎡超え、その他の階：200㎡超えで設置する
排煙設備	令第126条の2	学校等には設置不要（令第126条の2　ただし書きによる）
非常用照明装置	令第126条の4	学校等には設置不要（令第126条の2　ただし書きによる）
非常用進入口	令第126条の6	3階以上の階に設置を要する　設置間隔40m以下（代替進入口とした場合：設置間隔10m以内）
敷地内通路	令第128条	幅員：1.5m以上
特殊建築物の内装	法第35条の2, 令第128条の4	該当なし　※学校等で31m以下の部分
避雷設備	法第33条	建築物・工作物の高さが20mを超える部分がある場合、設置を要する

■消防法

建物概要		項規定：令別表第１（7）　　階数： 棟別用途：学校（中学校）　構造：	
消防設備		消防法	東京都火災予防条例
消火	消火器	一般：床面積300㎡以上 地下・無窓階・3階以上：床面積50㎡以上	―
	屋内消火栓設備	延床面積：700㎡以上 準耐火＋内装制限又は耐火構造で1,400㎡以上 耐火構造＋内装制限で2,100㎡以上 地階・無窓階：床面積150㎡以上	地階を除き5階以上
	動力消防ポンプ設備	屋内/屋外消火栓設備の設置対象物	―
	大型消火器	―	油入機器を使用する全出力500kW以上1,000kW未満 の高圧または低圧の変電設備のある場合
警報	自動火災報知設備	一般：床面積150㎡以上 地下・無窓階・3階以上：床面積300㎡以上	―
	消防機関へ通報する 火災報知器設備	延床面積1,000㎡以上	―
	非常警報設備	M（収容人員）≧50人 M≧800以上で放送設備かつ非常ベル	―
避難	避難器具	2階以上の階または地階でその階の収容人数50人以上 （耐火構造とした建築物の2階を除く）	６階以上の収容人員が30人以上
消防設備関連	非常電源設備	特定防火対象物で延べ床面積1,000㎡以上の建物 ：自家発電設備または蓄電池設備	地階を除く階数が7以上で延べ面積6,000㎡以上のものは 自家発電設備、蓄電池設備または燃料電池設備

■関係法令・条例・制度

	関連法・条例等	該当項目・留意事項
建築分野	地域力を生かした大田区まちづくり条例 大田区開発指導要綱	一定規模建設事業　建築物の建設で事業区画面積500㎡以上、かつ当該等建築物の延べ面積1,000㎡以上で該当
	大田区中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例	軒の高さが7mを超えるもの又は地階を除く階数が3以上のの場合、該当
	バリアフリー法	学校は「特定建築物」に該当
	東京都建築物バリアフリー条例	学校は「特別特定建築物」に全ての規模で該当
	東京都福祉のまちづくり条例	学校は届出対象施設に該当せず
	大田区福祉のまちづくり整備要綱	学校は届出対象施設に該当せず
都市計画分野	都市計画法の開発許可	
	土地区画整備事業を施工すべき区域	該当なし
	東京都景観条例	高さ45m以下、延べ面積15,000㎡以下のため該当せず
	大田区景観条例	延べ面積1,000㎡以上の建築物の新築、増築、改築等を行う場合、該当
地域まちづくり分野	地区計画	該当なし
	呑川景観形成重点地区	高さ10m以上又は延べ面積1,000㎡以上の建築物の新築、増築、改築等を行う場合、該当
	駐車場法	該当なし
	東京都駐車場条例	該当なし
	大田区自転車等の適正利用及び自転車等駐車場整備に関する条例	
地球温暖化対策分野	東京における自然の保護と回復に関する条例	大田区の場合は区の条例等に基づき区へ提出し、東京都への届出は不要
	大田区みどりの条例	300㎡以上の敷地における建築物の新築・増築・改築の場合は該当し届出が必要 （国及び地方公共団体の場合は、250㎡以上の敷地が対象）
埋蔵文化財	文化財保護法	埋蔵文化財包蔵地地図との照合し、該当した場合届出が必要
洪水ハザードマップ	大田区洪水ハザードマップ	台風や大雨で呑川氾濫の場合は浸水深さ1.0m～0.5mの浸水想定地域に該当
土壌汚染	土壌汚染対策法	一定規模（3,000㎡）以上の土地の形質変更を行う場合、該当
建築物環境計画書	東京都環境確保条例	3,000㎡以上の敷地内において土地の改変を行う場合、該当 （通常の管理行為・軽易な行為等の規則で定める行為を除く）
再利用対象物保管場所及び廃棄物保管場所等	大田区再利用対象物保管場所置場兼廃棄物保管場所等設置届	
建設リサイクル	建築工事に係る資源の再資源化等に関する法律	床面積の合計が500㎡以上のため、該当
省エネルギー	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	特定建築物（非住宅部分の床面積の合計が300㎡以上）の新築のため、 適合義務に該当
ビル衛生管理	建築物における衛生的環境の確保に関する法律	特定建築物（学校の床面積の合計が8,000㎡以上）の新築を行う場合、該当
厨房設備	食品衛生法 大田区食品衛生監視指導計画	公衆衛生上講ずべき措置に関する必要な基準を満たしていることを確認するため、 厨房設備を設置する際には所管する保健所に営業許可の申請を行い検査を受ける

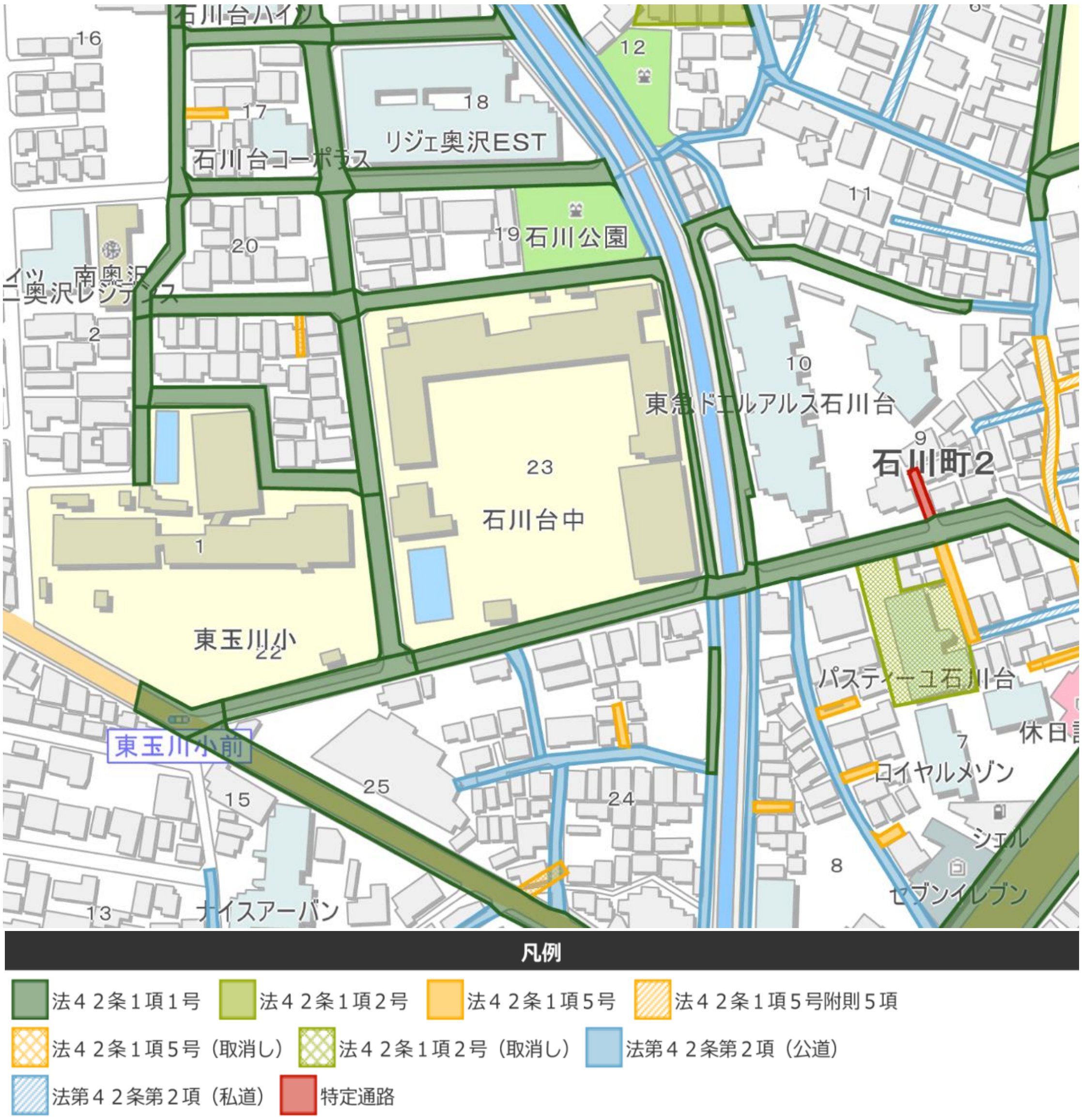
■東京都建築安全条例

関連法・条例等		内容
直通階段からの避難経路	第８条	主要構造部を耐火構造としなければならない建築物で、地階又は3階以上の階に居室を有するものは、避難階における屋内の 直通階段から屋外への出口に至る経路の部分を屋内の他の部分と耐火構造の壁又は防火設備で区画しなければならない。
道路に接する部分の長さ	第10条の3	延べ面積が2,000㎡を超える特殊建築物の敷地は、道路に10m以上避難上有効に接しなければならない。
行き止まり廊下等の禁止	第10条の8	避難階以外の階においては、廊下その他の通路（耐火建築物の廊下その他の通路で直接外気に開放されているものを除く）を 行き止まり状としてはならない。（行き止まり状の部分の先端付近に避難上有効なバルコニーを設けたものまたは行き止まり状 の部分に接するそれぞれの居室の出入口から10m以内に直通階段を設けたものを除く）
教室等の出入口	第13条	学校の教室等には、廊下、広間その他これらに類するもの又は屋外に面して2以上の出入口を設けなければならない。 ただし、次のいずれかに該当する居室はこの限りではない。 ・床面積が40㎡以下のもの ・バルコニー等が避難上有効に設けられているもの
内装制限	第15条	特別支援学校、専修学校、各種学校は、居室の壁（高さが1.2m以下を除く）及び天井の仕上げを難燃材料、廊下等・階段を 準不燃材料としなければならい。ただし、避難階、避難階の直上階は500㎡以下の場合は適用しない。

（３）周辺道路状況

石川台中学校の周辺は建築基準法上の第 42 条１項１号道路となっており、道路幅員は以下のとおりです。

東側：4.3m、西側：8.0m、北側：6.0m、南側：4.3m



※大田区ホームページ　まちマップおおた　指定道路情報より

（４）既存校舎の概要

ア　既存校舎の概要

校舎　　　　：約 6,064 ㎡

屋内運動場：（上記に含む）

屋外プール：25m×６レーン

運動場　　　：約 4,600 ㎡

イ　既存校舎の施設内容

普通教室　　　：普通教室（6 教室）

特別支援教室：特別支援教室（5 教室）

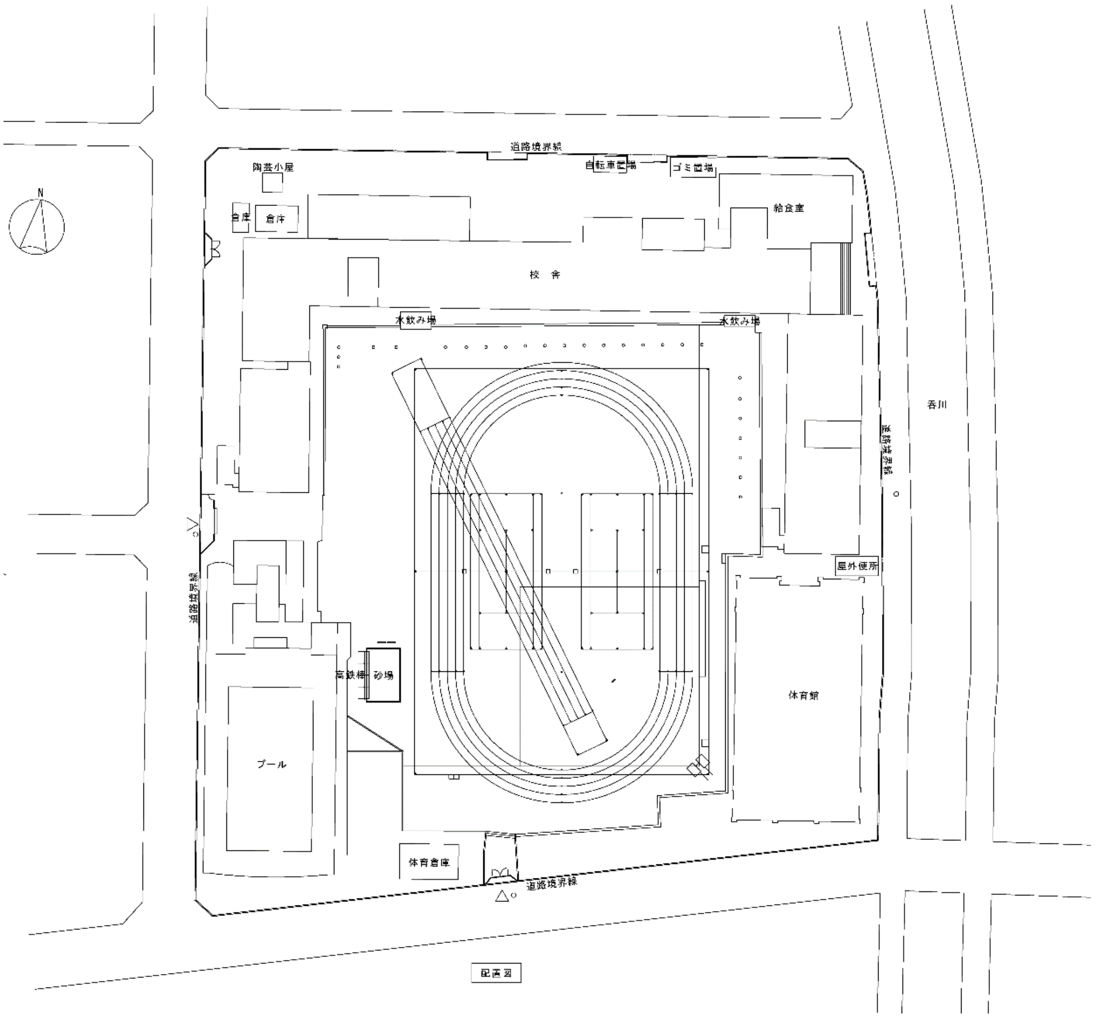
特別教室　　　：被服室、調理室、視聴覚室、特活室、金工室、木工室、図書室、理科室、パソコン教室、音楽室、美術室、特別授業教室

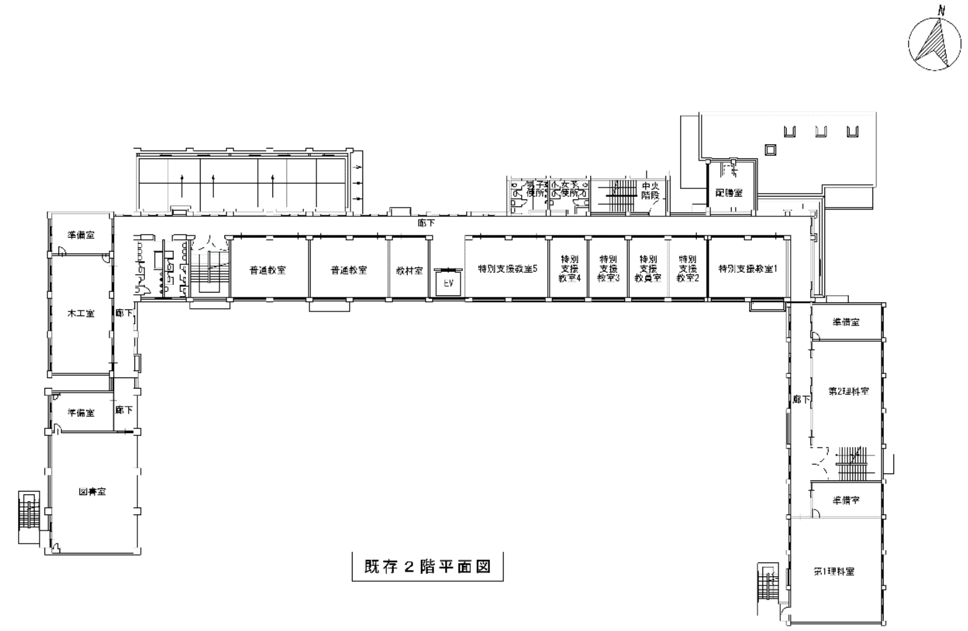
運動施設等　：屋内運動場、屋外プール

管理諸室　　　：事務室、主事室、校長室、教員室、印刷教材室、保健室、更衣室、放送室、給食室、配膳室、相談室、教育相談室、生徒会室、特別支援教員室、教材室、倉庫

その他施設　：防災備蓄倉庫、サポートルーム

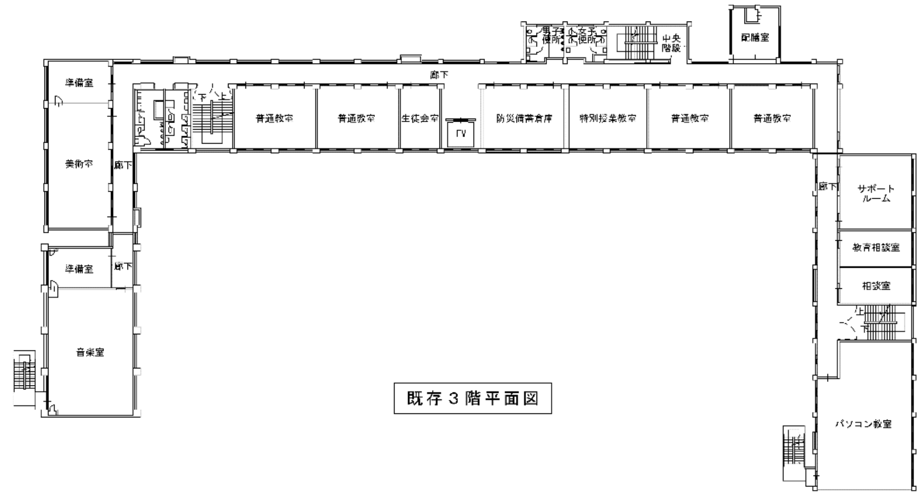
ウ　既存校舎参考図





既存２階平面図

既存１階平面図


準備室
美術室
廊下
準備室
廊下
音楽室
廊下
下
上
普通教室
普通教室
生徒会室
EV
男子便所
女子便所
中央階段
配膳室
防災備蓄倉庫
特別授業教室
普通教室
普通教室
廊下
サポートルーム
教育相談室
相談室
上
下
パソコン教室

既存３階平面図

（5）モニュメント・既存樹などの状況

⑧開校50周年記念樹　けやき

⑨けやき

⑩かりん（第10代校長　記念樹）

⑪宇宙けやき1

⑫宇宙けやき2

⑬イトスギ

⑭ヒメリンゴ（第15代校長　記念樹）

①創立20周年記念　日本庭園

②盆栽

③岩石園

④池

⑤創立30周年記念「けやきの子」像

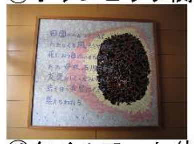
⑥ぶんご梅（第8代校長　記念樹）

⑦ぶんご梅（第9代校長　記念樹）

⑮オリンピック関連

⑯表彰記念品関連

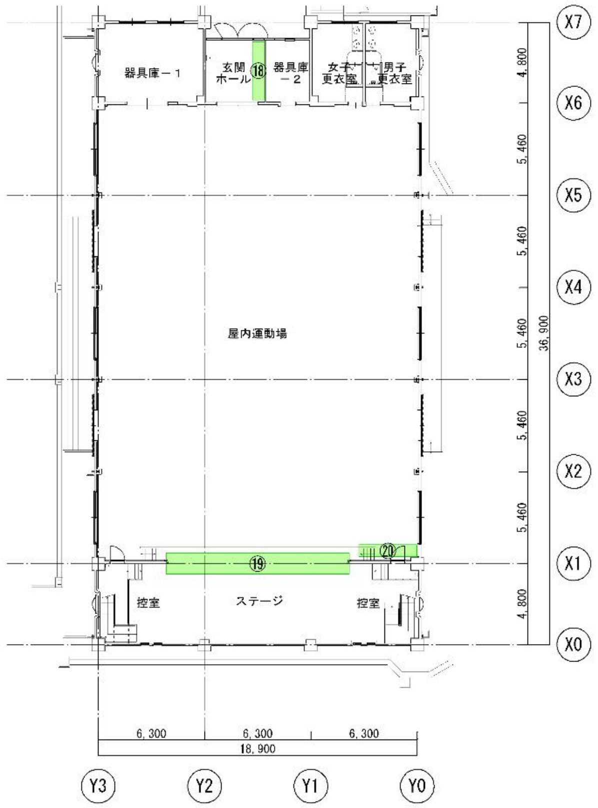
⑰表彰状


⑱タイルアート（校歌）

⑲舞台幕

⑳創立60周年記念（校歌）

校舎1階平面図　1/400



体育館1階平面図　1/400

２　大田区立学校諸室等仕様標準（抜粋）

（１）配置計画

・敷地の形状、周辺状況、立地条件を考慮し、校舎・校庭の配置を計画する。
・通学区域、接道、交通量、現状、を考慮し校門・昇降口を設置する。
・配置上、学校の環境が周辺地域に景観的に調和するように計画する。
・校門から昇降口へのアプローチは自然な流れをとれる配置として、来校者が分かりやすい計画とする。
・管理諸室と校門・昇降口は見通しの良い位置とし、来校者を視認できる工夫をする。
・児童・生徒・訪問者・車等の動線を合理的に配置する。
・校舎・屋外運動場等各施設は適切な日照、通風その他の自然環境を確保できるように配置する。
・防犯・事故防止の観点から見通しのよい校舎の配置とする。特に低学年の児童が活動する空間については、屋内・屋外空間を含め活動範囲を明確化し教員室・事務室など校務スペースとの位置関係に配慮する。
・校内の屋外空間と校舎等各施設部分が機能的な連携を通じてそれぞれの機能を十分発揮することができるように相互の配置関係に配慮して計画する。
・傾斜地、段丘、公園、河川など各校地の持つ状況をできるだけ生かし、学校環境に取り込んだ計画とする。
・屋外運動場は災害時に安全性を確保することのできる位置に配置すること。
・周辺住宅との間で相互に日影、電波障害、プライバシー等にできるだけ支障の生じることのないように計画する。
・校舎は小学校３階以下、中学校４階以下の建物として計画することが望ましい。ただし敷地の状況等によって高層化した場合には、周辺地域との関係、学校の計画・管理・運営上の諸課題に配慮すること。
・地域開放部分については、学校運営に支障ないように計画するとともに、施設管理上支障のないように計画すること。
・校舎・屋内運動場等の周囲に、緊急時の避難、施設の維持修繕等に必要な一定の空間を確保すること
・校内はユニバーサルデザインとし、誰もが円滑に利用できることを考慮すること。
・他の区施設との複合化について計画する場合は、各施設利用者の動線や管理運営方法に配慮した配置とすること。

（2）ゾーニング計画

・ゾーニング計画にあたっては、学習活動・地域利用に応じたゾーニングを計画し、学校・地域開放施設としての基本的な各室を置きこむこととする。

・各ゾーニング空間は相互をよく見通すことができ、また生徒たちが活動しやすい雰囲気 など快適な空間を作り出す工夫をすること。

・教員・生徒・地域、相互の（学校全体での）多角的な交流を促すために、ゾーン間は有機的に連続性を持たせた計画とする。

・階段・廊下等は、法令順守、移動のための施設という位置づけだけでなく各ゾーン間を有機的に結ぶとともに、学校活動の一部の施設として計画する。

ア　普通教室ゾーン・・・・・生徒が通常授業を行う普通教室

学年ごとの一体感を感じさせる計画とする。一方で、学年の枠を越えた活動ができる空間としても配慮する。

イ　特別教室ゾーン・・・・・理科室、家庭科室、図工室、音楽室など

教育内容に応じて複数の教科での共用も考慮し、適宜集約するなど多目的に利用できる計画とする。

ウ　管理諸室ゾーン・・・・・ 教員室、保健室、職員室、事務室 など

教室ゾーンと移動しやすい位置にあり、機能的でまとまりのある空間として計画する。

エ　地域開放ゾーン・・・・・地域集会室、体育館など

地域開放施設と他の施設は 、管理・防犯上適切に運営できる計画とする 。

3　大田区立学校改築標準設計仕様書

大田区では、区立小・中学校の改築に伴い基本・実施設計、最終的な工事に至る全工程に対して基本となる方針を大田区立学校改築標準仕様書に定めています。仕様書により保有すべき一定の水準を示すことにより、学校間における質的な格差が生じないよう管理することを目的としています。本仕様書は原則的なものであり、標準化によって学校施設の計画の画一化を促すものではありません。各学校の特性や計画条件を活かしつつ、効率的に検証を進め、工事費等の縮減を目指しながら、環境に配慮した学校の特色に応じた個性ある学校の実現を目指します。

第５章　基本計画

1　計画概要
（１）予定建物規模
（２）予定諸室
（３）予定諸室想定面積表
2　建物配置計画
（１）建物配置パターンの整理
（２）新校舎の配置計画
3　機能関連図
4　ゾーニング案
5　事業スケジュール
（１）工事の流れ
（２）工程計画（案）

第５章　基本計画

１　計画概要

（１）予定建物規模

延床面積：約 9,000 ㎡
階　　数：地上３階建て（屋上プール、プール諸室等含む）、地階なし
構　　造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（予定）

（２）予定諸室

大田区立学校改築標準設計仕様書を基に、将来における生徒数の推計や地域ニーズを考慮し、以下の諸室を想定します。

普通教室等：普通教室（9 教室）、習熟度別指導教室（3 教室）
特別教室：理科教室、音楽教室、美術教室、技術教室、家庭科教室、コンピューター教室、図書室、多目的室、教育相談室、進路資料・指導室
管理諸室：教員室、校長室・付属会議室、保健室、用務室、事務室、会議室、印刷室、放送室、教職員用更衣室、教材資料室、物品収納室・倉庫、給食室、配膳室、生徒用更衣室、生徒会室、プール用更衣室、プール用シャワー室、体育倉庫（屋外）
特別支援教室：特別支援教室
特別支援学級：教室、教員室
地域開放諸室：地域集会室、郷土資料室、備蓄倉庫、PTA 室
運動場施設：体育館、武道場、屋外プール

参考：生徒数・学級数の推移　※令和６年度以降は教育人口等推計（令和５年７月）より引用

年度	生徒数	学級数
令和５年度	195	6
令和６年度	207	6
令和７年度	224	7
令和８年度	232	8
令和９年度	253	8
令和 10 年度	264	9

参考：特別支援学級の生徒数及び学級数（令和５年５月１日現在）

年度	生徒数	学級数
令和５年度	11	2

（3）予定諸室想定面積表

室名		想定面積等			備考
		㎡	室数	計	
普通教室等	普通教室	72	9	648	
	習熟度別指導教室	72	3	216	
特別教室	第一理科教室	108	1	108	
	第一理科準備室	36	1	36	
	第二理科教室	108	1	108	
	第二理科準備室	36	1	36	
	音楽教室	108	1	108	
	音楽準備室	36	1	36	
	美術教室	108	1	108	
	美術準備室	36	1	36	
	技術教室	144	1	144	（金工・木工兼用）
	技術準備室	36	1	36	
	家庭科教室	144	1	144	（調理・被服兼用）
	家庭科準備室	36	1	36	
	コンピューター教室	108	1	108	
	コンピューター準備室	36	1	36	
	図書室	108	1	108	
	図書準備室	36	1	36	
	多目的室	144	1	144	
	教育相談室	32	2	64	
	進路資料・指導室	32	1	32	
管理諸室	教員室	128	1	128	
	校長室・付属会議室	64	1	64	
	保健室	64	1	64	
	用務室	32	1	32	
	事務室	32	1	32	
	会議室	64	1	64	
	印刷室	32	1	32	
	放送室	32	1	32	
	教職員用更衣室	32	2	64	
	教材資料室	64	1	64	
	物品収納室・倉庫	64	1	64	
	給食室	350	1	350	
	配膳室	32	2	64	
	生徒用更衣室	32	1	32	
	生徒会室	32	1	32	
	プール用更衣室	32	2	64	
	プール用シャワー室	64	1	64	
	体育倉庫（屋外）	64	1	64	
特別支援教室	特別支援教室	64	1	64	
特別支援学級	教室	221	1	221	
	教員室	32	1	32	
地域開放室	地域集会室	64	1	64	
	郷土資料室	64	1	64	
	備蓄倉庫	96	1	96	
	PTA 室	32	1	32	

校舎専用（A）				4161	
体育館	アリーナ	704	1	704	
	ステージ	110	1	110	
	器具庫・倉庫	64	1	64	
	放送室	10	1	10	
	ロッカー・シャワー室	27.5	2	55	
	便所	15	2	30	
	車椅子対応便所	10	1	10	
	出入口（玄関）	24	1	24	
武道場	アリーナ	450	1	450	
	器具庫	68	1	68	
体育館・武道場合計（B）				1525	
共用部分（C）				3753	
合計面積（A＋B+C）				9439	

※１.大田区学校諸室等仕様標準に基づいた設定であり、設計検討段階で最終決定をする

2　建物配置計画

（1）建物配置パターンの整理

以下の条件を踏まえ、措定される４つの配置パターンについて比較検討を行いました。

・工期短縮を前提とした上で、学校を運営しながら敷地内での建て替えを行う。
（全ての建物を対象とする）

・工事中に体育館、給食室が使えない期間がないように工事ステップを計画する。

・新校舎には、校舎・体育館・武道場・屋上プールを整備する。

・用途地域（第一種低層住居専用地域）の指定により、建物高さの最高限度は 12m
（認定もしくは許可取得が条件)。但し、敷地北側約 13mは斜線制限があり、高さ 12m以下としなければならない。

・敷地外周は「大田区開発指導要綱」「呑川緑道軸整備計画」により歩道の整備が必要

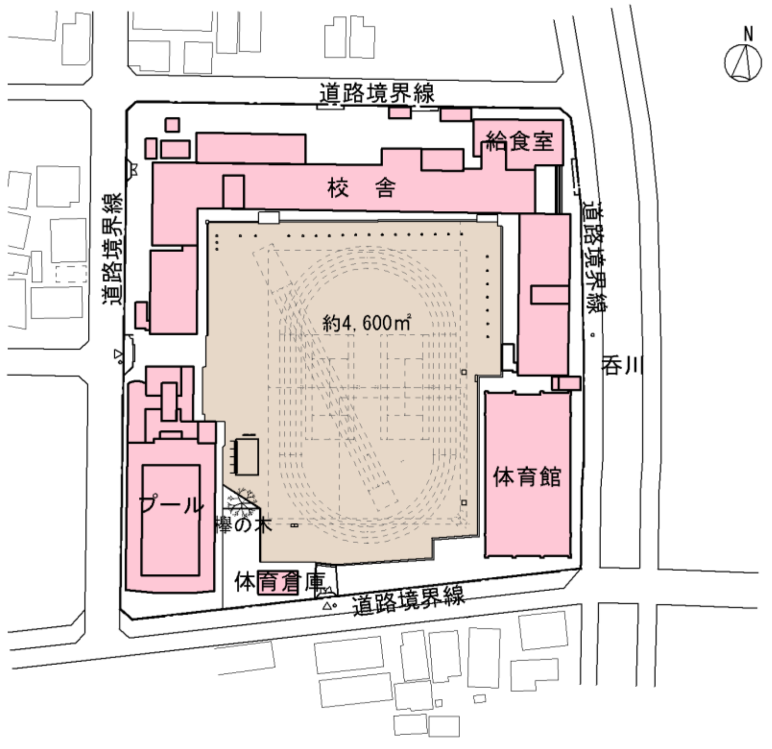
・シンボルとなっているけやきの木は現在の位置に残すことはできない。

・校庭は可能な限り整形とし、既存校庭以上の広さを確保する。

・ZEB Ready 以上の省エネルギー性能を確保することを目標とする。

配置比較検討案

現況配置図



現況配置図

＜計画条件＞

・工期短縮を前提とした上で、
学校を運営しながら敷地内での建て替えを行う
（全ての建物を対象とする）

・工事中に体育館、給食室が使えない期間がないように
工事ステップを計画する

・新校舎には、校舎・体育館・武道場・屋上プールを整備する

・用途地域（第一種低層住居専用地域）の指定により、
建物高さの最高限度は12m（認定もしくは許可取得が条件）
但し、敷地北側は斜線制限があり、
北側約13mは高さ12m以下としなければならない

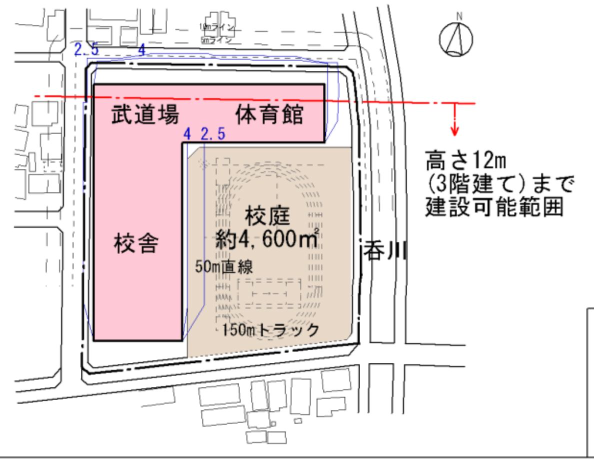
・敷地外周は「大田区開発指導要綱」「呑川緑道軸整備計画」に
より歩道の整備が必要

・シンボルとなっているけやきの木は
現在の位置に残すことはできない（移植について調査中）

・校庭は可能な限り整形とし、既存校庭以上の広さを確保する

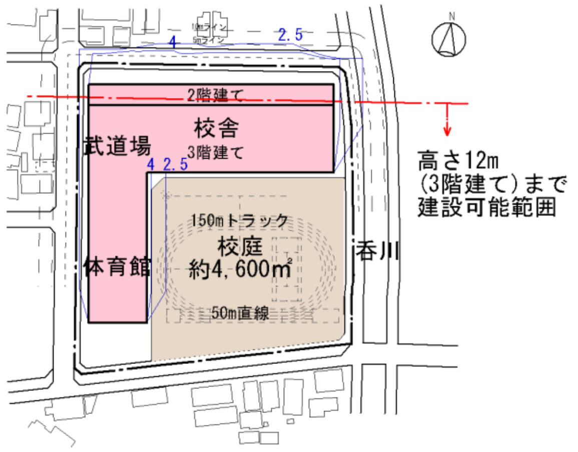
・ZEB Ready以上の省エネルギー性能を確保することを目標とする

（案１）西側配置



○：6　△：2　×：0

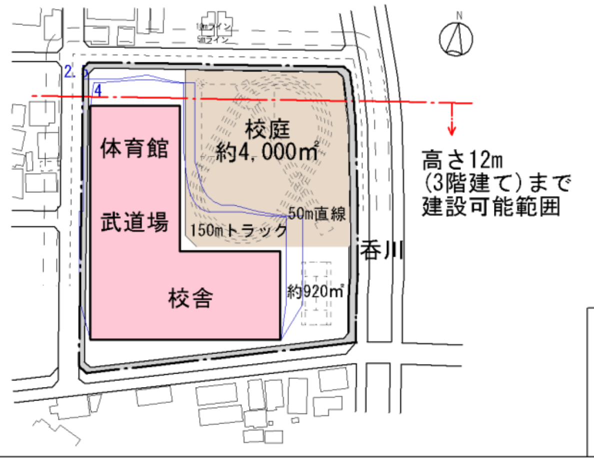
（案２）北側配置



○：4　△：4　×：0

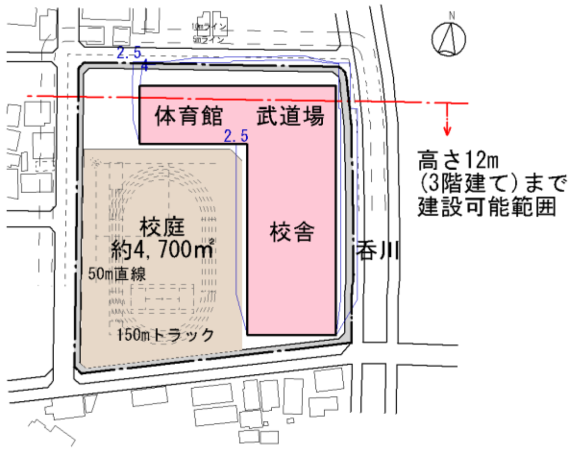
	（案１）西側配置		（案２）北側配置	
校庭の大きさ	整形部分を既存と同程度確保できる	○	整形部分を既存と同程度確保できる	○
校庭の日当たり	校舎の影が校庭に影響し難い	○	校舎の影が校庭に影響し難い	○
周辺への影響	西側の周辺住宅に対して校舎が現況より近くなる	△	西側の周辺住宅に対して校舎が現況より近くなる	△
防災	避難所となる体育館が呑川に近い配置となるが、 嵩上げなどの対策で水害時にも利用できる	○	避難所となる体育館を呑川から離れた西側に配置でき、 嵩上げなどの対策で水害時にも利用できる	○
工事ステップ	校舎が先行完成するため、新校舎の利用開始時期が早い	○	新校舎を一度に建設することができるが、利用開始時期は遅くなる	△
	仮設校舎が不要であり、工事中の校庭が広く確保できる	○	仮設校舎を建設し一度に新校舎を建設するため、工事中の校庭が狭くなる	△
	新校舎と既存体育館が離れており、工事ステップ③～④では渡り廊下が必要	△	仮設校舎と既存体育館が近いため、工事中も利用しやすい	○
コスト	仮設校舎が不要であり、賃貸借費分を抑えることができる	○	仮設校舎の賃貸借費分がコストアップとなる	△

（案３）南側配置



○：5　△：0　×：3

（案４）東側配置



○：3　△：2　×：3

	（案３）南側配置		（案４）東側配置	
校庭の大きさ	専用のテニスコートが出来るが、校庭の整形な部分は既存より狭くなる	×	整形部分を既存と同程度確保できる	○
校庭の日当たり	校庭に校舎の日影が生じる	×	朝日は期待できないが、校舎の影が校庭に影響し難い	△
周辺への影響	西側の周辺住宅に対して校舎が現況より近くなり、 南側の周辺住宅に対しては校舎の全面が対面する形になる	×	校舎が呑川沿いとなり、周辺への影響は軽減される	○
防災	避難所となる体育館を呑川から離れた西側に配置でき、 嵩上げなどの対策で水害時にも利用できる	○	校舎が呑川沿いとなり、水害のリスクが懸念される	×
工事ステップ	校舎が先行完成するため、新校舎の利用開始時期が早い	○	新校舎を一度に建設することができるが、利用開始時期は遅くなる	△
	仮設校舎が不要であり、工事中の校庭が広く確保できる	○	仮設校舎及び仮設体育館を建設し一度に新校舎を建設するため、 工事中の校庭が狭くなる	×
	新校舎と既存体育館が近いため、工事中（ステップ③～④）も利用しやすい	○	仮設校舎と仮設体育館が近いため、工事中も利用しやすい	○
コスト	仮設校舎が不要であり、賃貸借費分を抑えることができる	○	仮設校舎・仮設体育館の賃貸借費分がコストアップとなる	×

（２）新校舎の配置計画

今回の計画にふさわしい配置案として、（案 1）西側配置が選定されました。

（案 1）西側配置に至った経緯は以下のとおりです。

ア　改築に係るコンセプト・施設整備方針及びゾーニング計画を最も効果的・効率的に反映し施設整備できる配置である。

（ア）小規模校ならではの学年を超えた交流の活性化を図るテラスの設置（『伝統と学年を超えたあたたかい繋がりを尊び』『アットホームな学び舎』）

（イ）特別支援学級と特別支援教室（サポートルーム）と近接させ、特別支援教育を充実させる配置　（『多様性を受容する』）

（ウ）学校図書館を中心としたラーニングコモンズを誰もが立ち寄りやすい昇降口付近及び南東側の日当たりのよい場所とし、居心地のよい空間づくりを可能とする配置（『言葉の力』）

（エ）ラーニングコモンズに加えて校内の各所にフリースペースや多目的スペース等の多様な学習に対応する場を設定し、自主的な学習を促すことができる配置（『未来を切り拓く力』、『感性』）

（オ）外構に加えてテラスの一部も緑化することにより、身近に緑を感じとれる配置（『彩り豊かな』）

（カ）採光と通風に配慮されており、環境負荷を低減できる配置

イ　動線の工夫により、避難所となる体育館を水害時にも利用可能となるよう整備することができる。

ウ　仮設校舎が不要であり、Ｉ期工事で竣工する新校舎（校舎棟）を早期に運用開始できるため、教育環境の低減を抑えることができる。

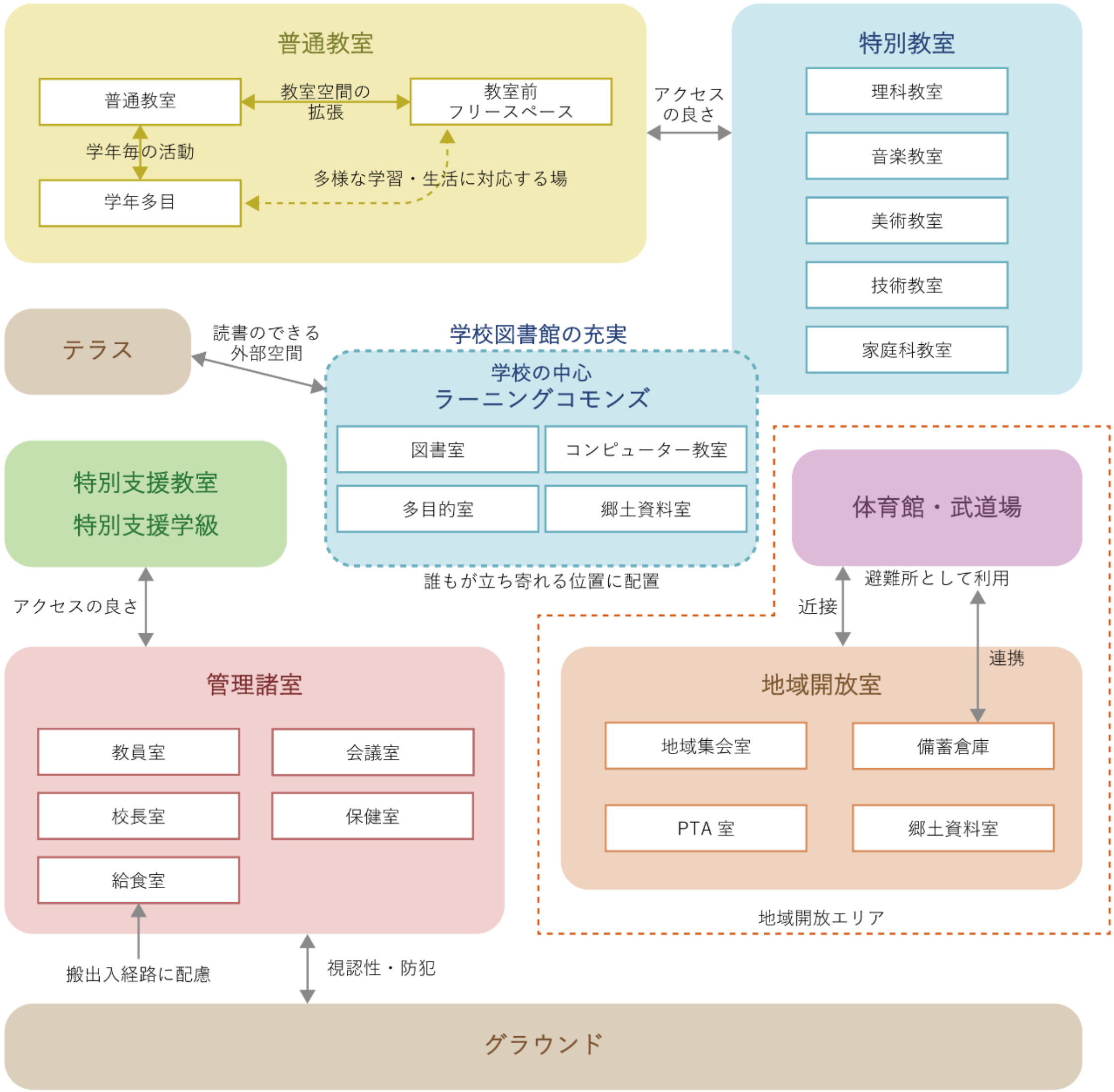
エ　改築期間中を通して、最も広く仮設校庭を確保することが可能であり、教育環境の低減を抑えることができる。

オ　工事期間が最も短く、短期間での整備が可能である。

カ　仮設校舎や仮設備品類の賃借料及び仮設校舎への引越費用が不要となり、大幅なコスト抑制ができる。

３　機能関連図

校舎の全体構成を検討する上で、各諸室やゾーンの関係性を整理するため、機能関連図を作成しました。中学校に求められる基本的な機能を満たすとともに、コンセプト・施設整備方針を反映しやすい建物構成を検討しました。



4　ゾーニング案

機能関連図及び基本構想で策定したコンセプト・施設整備方針を踏まえ、今回の改築にふさわしいゾーニング案を検討しました。コンセプト及び施設整備方針のアルファベットは次頁のゾーニング案と関連しているものを示しています。

■コンセプト

A 石川台中学校の伝統と B 学年を超えたあたたかい繋がりを尊び、

C 多様性を受容する　D アットホームな学び舎

～E「言葉の力」「感性」「未来を切り拓く力」を育む、

F 新しい時代にふさわしい G 彩り豊かな学びの空間の実現～

■施設整備方針

「大田区公共施設等総合管理計画」にある公共施設の適正化に向けて、効果的・効率的な施設マネジメントによる区民サービスの維持・向上を前提として、次のとおり方針を示します。

学び：国語教育や学校図書館を中心に学習意欲を刺激する空間づくり

a 学校図書館を中心としたラーニングコモンズを誰もが立ち寄りやすい場所に配置

a ラーニングコモンズにはコンピューター教室、多目的室、大村はま先生ゆかりのコーナーを併設し、複合的な学びの場として計画

生活：心身ともに豊かな３年間を過ごせる心地良い空間づくり

b ぬくもりがあり心地良い、明るく開放的な校舎

c 南向きで風通しの良い普通教室

d 広い廊下をフリースペースとして設置し、先生や生徒同士のコミュニケーションを活発化

共創：誰もが「共に育つ」ことができる多様な学びの空間づくり

e 普通教室や特別教室と連携し、発展的な学びが可能な学年ごとの多目的スペース

f 特別支援教室、特別支援学級のさらなる充実

環境：呑川緑道軸に接する豊かな周辺環境に調和し、省エネルギー化を目指した施設づくり

g 周辺環境と調和し、「緑豊かな学校」というイメージを継承する周辺、屋上緑化計画

h ZEB Ready 以上の省エネルギー性能確保を目標

安全：防犯や防災に配慮し、誰もが利用しやすく安心安全な施設づくり

i 水害時にも避難所として利用可能な防災機能の整備

ゾーニング案

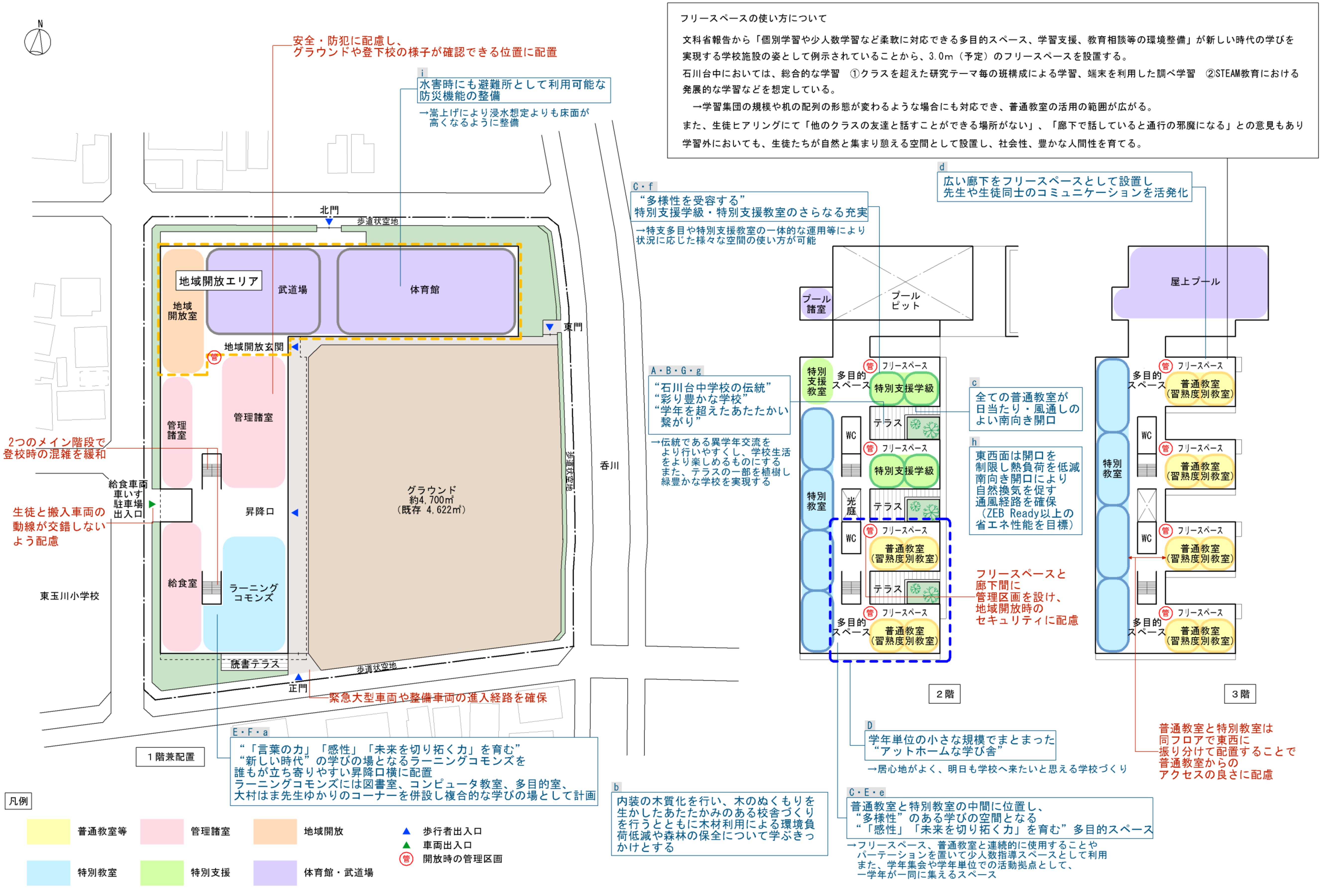
フリースペースの使い方について

文科省報告から「個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備」が新しい時代の学びを実現する学校施設の姿として例示されていることから、3.0m（予定）のフリースペースを設置する。

石川台中においては、総合的な学習　①クラスを超えた研究テーマ毎の班構成による学習、端末を利用した調べ学習　②STEAM教育における発展的な学習などを想定している。

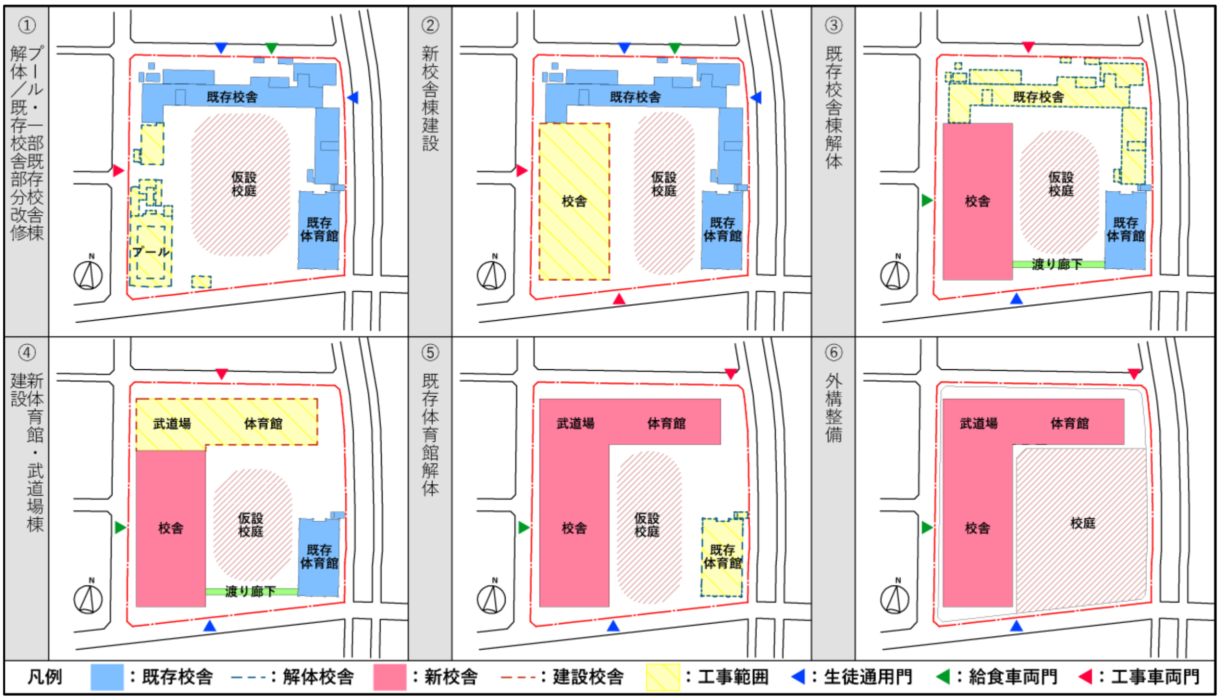
　→学習集団の規模や机の配列の形態が変わるような場合にも対応でき、普通教室の活用の範囲が広がる。

また、生徒ヒアリングにて「他のクラスの友達と話すことができる場所がない」、「廊下で話していると通行の邪魔になる」との意見もあり学習外においても、生徒たちが自然と集まり憩える空間として設置し、社会性、豊かな人間性を育てる。



5　事業スケジュール

（1）　工事の流れ



（2）　工程計画（案）

令和5年(2023)度	令和６年(2024)度	令和7年(2025)度	令和8年(2026)度以降
基本構想・基本計画	基本設計	実施設計	工事(解体・外構整備含む)

上記は現時点での予定であり、変更となる場合があります。

大田区立石川台中学校改築事業　基本構想及び基本計画

大田区教育委員会事務局
教育総務部教育総務課施設担当
〒１４４－８６２３　東京都大田区蒲田五丁目３７番１号
ニッセイアロマスクエア５階
TEL：０３－５７４４－１３９９（直通）